

野津原方言集

才大号

不
遠きりあり

不
遠きりあり



不
遠
き
り
あり



野津原方言集 続編No.6

表紙画……………松本英明

題字……………姫野順子

カット……………那須政子

ご協力いただいた皆様

佐藤厚士様 《直入町》、秋吉サツキ様 《野津原町》。
森崎フキ様 《臼杵市》、横山スミ子様 《大分市》。
岡本政雄様 《野津原町》、斎藤君江様 《野津原町》。
松元義人様 《大分市》、川西哲男様 《呉市》。

参考資料

大分県南の方言集 《竹本正夫発行》
本町の優しい歴史と文化 《本町老人クラブ発行》
読み聞かせ短編集 《石原美希構成》
文化財調査こぼればなし 《石原美希資料》

平成16年6月吉日《通算14号》

発行 野津原町今市小原 野津原方言調査会
☎097-589-2807
野津原町本町 野津原方言調査会事務局
☎097-588-0092

方言単語集 続編No.6…調査収拾、編集

甲斐英行、小野寿祐、佐藤源治、那須政子、赤星ヨシミ。



平成15年に単語集の 前編、後編発行で 調査収拾12年間に
終止符を打って 閉会の予定にしておりましたが 終了挨拶に長期間
ご愛読の皆様宅を訪問した際 温かい励ましと継続の要望が強く
会員が継続出来る限り取り組んで お役に立つならばと再出発し
続編発行になりました。素人集団の素朴な冊子の方言集です。

今までの冊子にもお断わりしましたが 方言の性格上差別用語や
卑下するような言い回し 聞き辛い言葉なども収録してあります。
又方言ではないかもしれない言葉 全く使われない言葉なども入っ
ている そんな場合もありますが 折角資料の提供協力いただいた
皆様の お気持ちにも応えて掲載いたしました。

多くの皆様のご支援ご愛読 ご協力によって会員の能力の限界ま
で 継続する事で野津原の『古くからの生活用語』 であった野津
原方言が記録に残せたら この上無い幸せと喜んでます。まだま
だ多くの大切な方言があると思うと 巡り会わせた調査の幸せを
かみ締めて精進致します。ご支援よろしくお願い申します。

七瀬の渡し場の『馬子五助さん』 優しく頓知があり物事を苦に
しない 飄々とした人間だが人情には 人一倍もろい面もあって多
くの人たちから頼られ 大切にされている。今回も語り部の適役に
忙しい時間に 駆り出されて舌打ちしながらも 持ち前の人間性が
生かされる事になった。ほんなちよいと聞いちくれな。

方言単語につけ加えた 語り部、五助街道物語り、童話、
生活便利な資料、お色気ちょつぱり笑い話、あげなはなし、
こげなはなし、伝承民話、なんかも時々入れ混ぜて 時ん
流れに逆らわんごつ ちよいと耳だけこっち 目だけこん
げさね向いちよくれな。

『たった一度きり人生』

さかしいな…ゆう病院の前じ抵抗もね一語りかくる。日常茶飯事
ん事じゃが ゆう聞くとおかしな理屈ちなる。悪いかる病院に来ち
よるんで…心、体、それとん ヨロケ じ来ちよるんか。

男に比べち女は強う長生きでくる…こりゃ神代ん昔かるんきめ事
かん知れん。ヒョイトスリヤ…勝手気ままに過ごすからかん知れん
。チョウレンな男お食うち生き残り種を保存する。

じゃき長生きせにゃ損する…心豊かに、たった一度きりの人生
《年金ないつまでん貰ゆる 元気じあっちこす幸せ》。物や金も大
切じゃが心を信じ 心を信じてくるる事はもっと大切じある。

所じ6文銭《欲の6種類…食、性、銭、妬み、病気、美しさ》を
求めて一ばかりん想い。三途ん河じ叶えたあん世ん欲望がどうか
聞いちみたら こげな答えが戻っち来た。

- 1 60を過ぎたら無欲になれ。
- 2 必要以上ん金や財産な争いん元。
- 3 世話になった人に恩返し。
- 4 人を大切にする優しい気持ち。
- 5 自然を大事にする温かい思いやり。
- 6 子や孫を躰する気配りん心。

生まれ育った過去の年輪を これから引き受
けて くれる人たちにリレーする事の必要性。



はじめに……………	B	神楽楽しむ白蛇……………	4 7
たった一度きりの人生……………	C	区長さんの心意気……………	4 9
目次……………	D	松根油が国のため……………	5 0
馬子唄物語《伝承》	3	炭焼きじご奉公……………	5 1
その手が羨ましい……………	4	焼き米ついた水車……………	5 2
おばあちゃんのおにぎり……………	5	野津原八景《S 2 8 年》…	5 3
お接待とはどげなこと……………	8	方言単語 《た》……………	5 4
方言単語 《あ》……………	1 0	《ち》……………	5 6
《い》……………	1 1	《つ》……………	5 8
《う》……………	1 3	《て》……………	6 1
《え》……………	1 4	《と》……………	6 3
《お》……………	1 5	方言あそび……………	6 6
馬子唄ばやし《話題の種》…	1 7	方言物語 《わらべ》	
方言単語 《か》……………	1 9	忘れた弁当箱……………	6 8
《き》……………	2 0	猿の恩返し……………	7 1
《く》……………	2 1	辻のお地蔵さん……………	7 4
《け》……………	2 3	祭りのみやげ……………	7 6
《こ》……………	2 5	方言単語 《な》……………	8 0
五助おしゃべり《民話》		《に》……………	8 2
痒ゆうじ仕方ね……………	2 9	《ぬ》……………	8 4
藁がぬくうじ……………	3 0	《ね》……………	8 5
方言単語 《さ》……………	3 2	《の》……………	8 6
《し》……………	3 4	五助街道物語 《民話》	
《す》……………	3 7	いっぺん見せな……………	9 0
《せ》……………	3 9	一幕芝居 あげなはなし…	9 2
《そ》……………	4 0	一幕芝居 こげなはなし…	9 3
五助街道物語《民話、実話》		いっぺんしちくれんな…	9 4
でーじにする優しさ……………	4 3	江戸んあげん話こげん話…	9 5
高崎山まじ続くヌキ……………	4 4	五助物語こぼればなし…	9 7
健康づくり大事……………	4 5	あとがき……………	1 0 0
河船ん船頭さん……………	4 6		

馬子唄物語 がら



そん手が羨ましいのう

『もちっとじ届くんじゃが はがいい』 真剣になっちよるもんじゃき 息つかいも荒うなった。そんためか 目の前んちっと日焼けした膨らみが 時々ふっーと膨れたり しずーだりする。

さしくーだ手の先じゃ はじめは しげみんごたる毛があたっちょつたが だんだん奥に指しくーだ手先じゃ うぶ毛んごたるもんが ふわっと触る。見えんもんじゃき なおさら敏感になる手の先。

もちっとさしくーだ先は もう指しか入らんごたる。息使いも荒うなると どうでんこうでん 目的までち欲も出る。手に汗が滲み見えん もどかしいんが そりゅうよきーいらだたせちしまう。

『もうふんと はげらしいのう』 こんくれー奥は寒い日でん暑い土用でん 温もりゃ一緒んごたる。大事なもんじゃき無理もねーけんど。と そん時じゃつた。ピクッ動いた。『やった』。

★ ちっとじ…少しで。くんじゃが…くのだが。ちよるもんじゃき…いるものですから。しずーだり…沈みこんだり。さしくーだ…差し入れた。しげみんごたる…繁っているような。あたっちょつたが…あたっていたが。ごたる…ような。じゃき…ですから。どうでんこうでん…どうしても。までち…までと。そりゅうよきー…それをよけいに。だたせち…だたせて。もうふんと…ほんとうにもう。はげらしい…はらがたつほどくやしい。こんくれー…このくらい。土用でん…土用でも。温もりゃ…温度は。もんじゃき…ものですから。ねーけんど…ないけれど。時じゃつた…時でした。

手の先 生まれだちん雀ん雛がさわったもんじゃき むげねえち思うたんか手を引っこ脱いだ。そん気持ちも解るごたるなえ。

五助さんの語りには頓知もあるけれど、その根底には憎めぬ情愛がこめられちよる。その語り《仲間にカタル…加わる》ん中か

幾つかしゃべっちもらおうか。『やーおれがしゃべるんか…いいんか…やんどどー暇か』 若えしがヨコウにちっと心配になるもんじゃき、念ぬおしたら皆顔見合わせち願いた。

★ けんど…けれど。その…その。

ちよる…ている。かる…から。しゃべっち…話して。もらおうか…お願いしょうか。やーおれが…そうですか私が。いいんか…よいのですか。やんどどー…あなたたちは。ヨコウ…休む休憩する。ちっと…少し。もんじゃき…ものですから。

《1》 おばあちゃんの おにぎり

幸次は一年生、今日も元気じ友達と学校から帰る道。話が弾んじ笑い声が聞こえよる。途中まじ帰いつたその時じゃつた。近所んおばんが幸次に知らせに来ちくれた。『幸次、早う帰らんと、ばあさんが悪うなつたど』 そこまじ言うとそき一座りくーだ。よっぽず悪いんじゃろう。顔色がぼっと変わったんが、幸次もわかつた。

『おばん、おおきに』 幸次、一目散につーじ帰つた。どくどげえつーだか……。昨日も一緒に話う、聞いち眠つた幸次。そんくれー優しうじ好きじつた、ばばさん。病氣になしなつたん、ひょいと死んだらどげしゅー。あれこれが頭ん中お飛びまわちよる。お祭りん日、そじゅー引っぱち行つた時、キンチャクかる小銭を出えち、玩具をかうちくれた、ばばさん。熱う出えた時も一晩じゅう枕許じ見ちくれちよつた、ばばさん。

そげなこつー思うと『絶対死んだら悪いき』、大けな声う出してえ気持ちになち、真剣つーじいく。どんくれー走ってんなかなか家まじといー、そげな気持ちん幸次じゃつた。

★ 元気じ…元気で。からん…からの。聞こえよる…聞こえています。まじ…まで。じやった…でした。おぼん…親しいおばさん。くれた…くださった。帰らんと…帰らないと。なったど…なつたですよ。そこまじ…そこまで。そきー…そこに。座りくーだ…座りこんだ。よっぽず…よほど、予想以上に。じゃろう…でしょう。たんが…なのが。つーじ…飛んで、走る。どくどげー…どこをどんなように。つーだ…走つたか。聞いち…聞いて。そんくれー…そのように。なしなつた…なでなつた。ひょいと…もしかして。どげしゅー…どうしよう。まわちよる…まわっています。そじゅー…袖を。引っぱち…引きながら。キンチャク…財布。出えち…出して。見ちくれちよつた…介抱してくれていた。そげな…そんな。なち…なつて。つーじいく…走つて行く。どんくれー…どのくらい。といー…遠い。そげな…そんな。じゃつた…でした。

『ばばさん』上がり口かる 飛びあがるごつ奥ん間に。側じ看病しちよつたんじゃろう おかちゃんが出ちくると 幸次は『ばばさんな しょわねーんな』『今 眠ちよるき』 そん声じ幸次も えーと安心したんか そきーふにゃふにゃと……おかちゃんなそれほーが気になつた。『しょわねーんか』

『側にいってんいい』『おとなしゅしちよらにゃな』『うん』 そんくれー言うと そろつと入ち行つた。ちつたー顔色あ悪いが スヤスヤ眠ちよるき安心した。『おかちゃん 水おくれ』つーだき喉が乾いたんか……そんくれー言うと顔色が 笑い声になつた。ほかんトギも心配したんか みんな来ちくれた。

次ん朝 ばばさんの部屋を覗いち見た。『心配せんじ学校に行ち来な』『ばばさん 元気なつたんじゃな』 もう涙声になちち 幸次も嬉しい涙が頬っぺを流れた。『行つてきます』

★ とちよつたんじゃろー…していたのでしょうか。おかちゃん…母親。しよわねーんな…大丈夫ですか。ちよるき…ているから。えーと…やっど。そきーふにゃふにゃ…そこにヘタヘタと。いってん…行っても。しちよらにゃ…しないと。ちったー…少しは。つーだき…走ったから。トギ…友達たち。せんじ…しなくても。たんじゃな…たのですね。

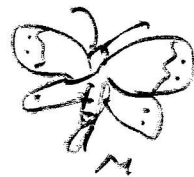
勉強がおわると一目散につーじ帰いつた。まだ寝床じ寝ちよるかな…好きな仕事しちよるかな…いろいろ考えち見た。

いつもより元気な声じ『ただいま』と ないしょ方じ ばばさんの笑い声。幸次は途端に嬉しゅうなっちもう。涙が自分でんおかしいごつ流れちきたんか。なしか解らんけんど。『ばばさん』ち呼ぶ声も出らんのが やっぱ嬉しいんじゃろう。『あら帰ちよつたん』 『…………』 顔見合わせち 言葉はねえけんど 気持ちちもう通うちよつた。そして泣きじゃつった幸次。

『どけしたんな』『…………』 『ほら 真剣すきな おにぎり』 涙ふきふき 差し出した手。『ありゃー洗わにゃ ほいちウガイもな』 幸次の大好きな おにぎりが もう嬉しゅうじ仕方ねー幸次。旨そうに食ぶるのに ばばさんもそれ以上に嬉しいごたる。

★ ちよるか…ているか。しちよるか…しているか。ないしょ方じ…炊事場の方で。なっちもう…なってしまうて。自分でん…でも。きました…でました。なしか…なでか。じゃろう…でしょう。ちよつたん…いたの。けんど…けれども。ちよつた…通っていた。どげしたんな…どうしたのですか。ありゃー…これはまた。ほいち…それに。食ぶるなー…食べる。

《小学1年生向けの語りから》
方言調査から取材構成たものです。



《2》 お接待た一どげなこと

春先んちっとヌクーなった頃にある 『お接待』 どげな意味があるんじゃろうか。五助さんがん話やもう弾んじよる。嬖う乗りでえた若えしも生唾ぬうじ聞き耳うたてた。

昔ん3月21日《現在は4月21日が多い》に されちよる行事は偉いお坊さんの遺言を大事に 守っち伝え『あまねくほどこし』ん気持ちちがこめられちよる。いやー春と夏ん風物詩じゃの。ここに見るお坊さんは 弘法大師と言われる地質や気象にもくわしい。若え頃時ん中国に遣唐使としち渡り 長安ち言う町じ密教ん勉強しち 仏ん道でんある真言宗を広めた人じゃつた。

816年に高野山に寺を開いち多くん人たちん心んより所になった。大師は…人かる習った、貰った、聞いた、こた一全て多くん人にお返ししちこす 生きちよつた証じある。と 世の中ん仕組みや生活んあれこれ 食ぶることん感謝 人んと巡り合わせに自分も支えられちよる 生きちよるんはあらゆる物と生かされされちよる賜物じゃち お返しする手戻し責任もあるち自分にも。言い聞かせたち言わるる。

どんくれ財産が金が 贅沢な物や資格肩書きがあってん ほんのちよいとん人生ん宇宙かるん借り物にすげん。人間がこん世を去る時にゃそげなんな みな無意味な欲望ん固まりじ重荷になっちしまう。それが醜い喧嘩ん元になったり三途ん河じ おぼるるかん知れん。じゃき困ったしに施すお互いに譲り合う 優しい心ん支えあいん気持ちじ幸せ人生が 過ごせるもんじゃき…と説かれちよる。

3月21日お弘法大師ん命日ちされちよる《即身成仏》。こん日にお接待しち お互いが分かちあい感謝する心う培うごつなった。のも意義があり大師の 心が伝えらるるんじゃあるまいか。感謝して受ける気持ちも大事な遺言 そこに人間の価値観も生かさるる。

ほんな野津原じゃどげなこつーしよるんかえ。春ん場合にゃ若い
筍、わらび、ぜんまい、サンショーなんかが新芽を出す。農家は麦
が熟れ、田植え準備、茶摘み、なんかんせわしい季節う迎かゆる。
雨も多ゅうなる時期…こげん時近所んしが集まっち大師ん お接待
ふんとタイミングんいい事。米う持ち寄り季節ん山菜 腕自慢の年
よりが得意な物ぬ作る…若い嫁さんたちが見ながら覚え 次ん機会
にゃそりゅうやっちみる。

隣近所ん結びつきが生活ん支えあい助け
合いに伸びる。遠い親戚より近くん他人の言い伝えが似合う 信頼
関係が美風が仄かに育ち継がれちよる。大師ん気持ち
心が生かされた素朴な『お接待』が 今年も微笑ましい
情愛を醸し出ーち故郷ん風物詩。じゃき皆ん心が豊かじ
人う大事にもしあうちーなる。



お年寄りが孫ん手を引いち貰いに来る。顔ん皺は高貴
ん年輪じゃが輝いてんおる。意味が解らんでん紅葉んご
たる手を合わせる孫 言わずとも身につき覚ゆる人生勉強でんあろ
う。『はい背中ん子の分も』心くばりがにくい 人の気持ちは上手
でんねー自然に湧き出る心。こんな状況が家庭の仏に手を合わせる
事い つながるんじゃろう。

夏んヤセウマンきな粉ん香り そこにも人ん真心がこめられたよ
る。次ん若いしに受け継がるる時 大師の心も継承されち故郷ん束
ん間の ふれあい行事が仏との絆によっち 意義あるもんに広がっ
ちよるごたる。そこには貧富ん差もねー平等ん社会 これこす伝え
てー大師の願い想いでんあるのじゃろう。米が百姓にゃ宝じゃ辛抱
せにゃのや…こりゃ心ん合い言葉。夏にゃ小麦粉ん出番が多うなる
が 栄養も消化もいいき使う事も多い。ヤセウマ、ダンゴ《質の悪
い米で》ウドン、生活上手ち言うか知恵ん出しあい。お接待でん
そげな事う考えち見ると大師さんも 有難え存在じゃな一。赤い前
だれ取り替えち『お接待しゅうえな』。

平成15年に集大成の『方言単語集…前、後編12000語』の2冊セットを発行、続いて今年に入って追加集3000語を発行。合計15000語に膨れあがった。勿論この中には方言にしては少しおかしい語もあるが調査期間にご支援ご協力頂いた気持ちを大切にしてすべて盛り込みました。今回はさらに2つの方言が連なる連続方言も仲間入りしました。

方言単語



- あ アーンシナ…主に子供対象に……………口をあけて。
 アイネンシュー……………出会っての年始会。
 アイトネーナスキンショウコ……………逢いたいのにわざと。
 アオイロ……………現在のグリーン。
 アカンゴツスルキアキナイ……………気長に根気よく。
 アゲンコトンジョー……………あんな事ばかり。
 アゲチクンナー……………あげてください、あがってもよいですか。
 アゴカルサキウマレチ……………口うるさい、おしゃべり。
 アゴヨリシゴツシヨ……………いらぬ事言わず仕事をしなさい。
 アザアシャクスリナル……………何回も無駄して勉強になる。
 アシュウタゴケーチ……………足を捻挫した。
 アジュウシムルド……………畦を固めて漏水を防ぐ。
 アズークネッタ……………かがとをこねて捻挫する。
 アゼマミヤゼイガネー……………畦に植えた分は儲け分。
 アタメーケガネーゴツ……………無茶苦茶に卑下する。
 アタランデンマウ……………黙っていても調子に乗る性格。
 アタンナチューニマタアタル……………言うことを聞かない性格。
 アチゴタラウミューカ……………熱いようなら水を入れようか。
 アッキー……………あそこに、あちらの方に。
 アッキーアルデ……………あそこにありますよ。

あ アッコンヨキアッタ……………あその横にありました。
アテンボカデン……………あてずっぽでも、たまたま言ったのが。
アトインタチャーマキー…後の分は安くね、後の試合は負けに。
アトアシジカクル……………恩を仇で返す、後ろ向いて舌を出す。
アナーイレタンカ……………相手と性交できたのか。
アナドロボウハヤメチョケ……………無理な性交はするな。
アニキンカカニャテヲダスナ……………兄嫁に不義しないように。
アネジヨウンシリハグリ……………姉さんを刺激するな。
アバカンゴツトレタ……………沢山な事収穫、予想以上に多く。
アビヨリヤミニクル…水泳中に監視にくる、入浴中の覗き見。
アブネーコターアジガイイ……………危険な色欲にゃ格別な味。
アブンメンタモークレタ……………50銭銀貨もらった。
アマタレンシズクアナ……………物思いに涙やら性器の事やら。
アミューヒロゲチシブウチ……………網に柿渋をしませる。
アムトキャイクデ……………手間替え、俵編みの加勢に手戻し。
アメフリャイッテイイ……………雨の降る日にゃ逢いたいけど。
アモウミタラスクワレタ…油断していたら足もと見られた。
アラレンコツ………………無理で理解しにくい事を。
アラシコヨセアツメ……………若い人たちを集めて。
アラゲネー……………荒々しい激しい空気、祖雑な性格。
アリモセンコツ……………根拠もない、空想して惑わす。
アルキチュウブ……………歩く事に病的に夢中になる。
アンダケ……………あれほど、予定通り、あんなに。
アンゲサネイケ……………あちらの方向に行きなさい。
アンナ……………あのですね、実はですね。
アンマリムテージャ……………あまりにも無茶な、無理難題。
い イイソコノーチシモウタ……………間違いの話し方になった。
イイカブランゴツ……………言い過ぎたり言い間違えたり。
イイソボクル……………言い方が確実性のないあやふやで。
イイソビルル……………言うつもりがうっかり機会を失い。
イイソビレチ……………言うはずが機会を失って言わずじまいに。

い イカキュセンカ……………鍋の修理をしませんか。
イカレメージャロー……………行けないでしょう、行けないから。
イキシニャヨレヤ……………行くときに寄って。
イキシニャミナヨレ……………生まれた時、死んだときは皆寄って。
イキシネキータ……………行くときに聞いた。
イクトキャユウキ……………行くときには言うから。
イケガキャマワリコ……………埋葬の穴掘りは輪番で。
イケガキスルカ……………埋葬になりますか、穴掘りしますか。
イコドチシコシヨル……………行く準備しています。
イゴカンゴツナッタ……………動かなくなった。
イシウスンメタテ……………よくすれるよう石臼の目を研ぎなおす。
イズンカラカトウ……………ゆがくなら固めに。
イゼブシンナニュートー……………井路補修の日は呑気に楽に。
イゼモチャハヨクエ……………ゆがいた餅は早く食べないと固くなる。
イタンマンベンガラ……………板の間にベンガラ塗装デで腐食防止。
イチミランデンワカル……………行かなくても解っている。
イチリンダマンイトキリ……………鉛玉を糸で切り作る作業。
イッスンズリジオージョータ……………なかなか進まず困惑した。
イツデンネード……………いつでも無い、季節はずれには皆無。
イテーチコケマワル……………痛みがひどく転げ回るほどの苦しみ。
イドサラエンヘコカエ……………井戸掃除に変える禪。
イドニャカナモンナワリー……………井戸に金物禁物、水神様が嫌う。
イトガトーリャセン……………糸が通せぬ目の悪さ。
イトンコシャクナアナトオリ……………細い糸でもするり穴通り。
イナンナラトマレ……………帰らないなら泊まったら。
イニソボクッタカ……………帰る時期を失って迷ってしまう。
イヌルゴタラオクロウカ……………帰るなら送りましょうか。
イネチャガデテンノー……………帰り間際の茶が出たが未練が。
イネチャガ……………帰る間際に出される茶は礼儀である。
イノードチヨダツ……………帰るので準備する、帰る予想の準備。
イノーチオモウチヘンガカワル……………帰る予定が急に変更になる。

- い イバリキオツキー……………出張った切り口気をつけなさい。
 イビキャタマラン……………軒に困った現象、先に眠りゃ助かる。
 イブクラミノウチ……………胃袋も体ん内だから、暴食避けよ。
 イボシポッチネルカ……………性器を絞って用足し寝る。
 イマキャハズレンゴツ……………腰巻は外れないように。
 イマキュハグッタンカ……………腰巻をはぐって見たの。
 イミツタブンナモウケ……………増えた分は利益、予想外の収益。
 イメナリヤハナソウ……………今だから話してもよいだらうから。
 イモジガエエラシイ……………子供の腰巻衣装はかわいい。
 イヤチュウナスキド……………嫌いと言うのは好きな証拠。
 イランコツセマギル……………余計な事に邪魔する。
 イルンナラモツチケ……………必要ならもっていてもよい。
 イレチャローカ……………入れてあげようか、欲求不満の手伝い。
- う ウーゴツジャ……………大事ですね。
 ウエカルオサエチサス…無理に押さえて予防注射。
 ウカンダシエド……………浮いた分は種にならない。
 ウキューゴタネー……………受けたくはない。
 ウクンナチュウタニ…受けなさんと言ったのに。
 ウケカブッチカルヤ……………受け損してからね。
 ウケノータンナラセニヤ……………受けたのなら責任をもたねば。
 ウサードロボンハジメ……………嘘つきはぼろが隠せないから。
 ウシンハナネブリ……………牛が甘えてにじり寄る。
 ウシュミリヤカウシガワカル……………牛は飼い主を表現する。
 ウスンゴツウゴカン……………落ち着きがあり微動だにしない。
 ウダキモウサン……………大きくて両手では抱えられない。
 ウチュウソチシチ……………なりふりかまわず放蕩三昧。
 ウツケモンナ……………調子者で要領が悪い。
 ウッチャランチイウタ……………売らないと言ったのに。
 ウデマクリヤシレ Chol……………見せかけだけでは意味がない。
 ウドンウトーヤ……………うどんが食べたいな。
 ウドームドーガオイイ……………烏合の集、役立たずが多い。



- う ウナッテンウカバン……………力んでも浮かばない練習不足。
 ウヌドーコス……………あなたたちこそ、お前たちこそ。
 ウヌガワレガ……………お前も俺も、皆の仲間、責任。
 ウネガトーチョラン……………敵が横向きになって、敵が曲がり。
 ウビーチュウタ……………熱いので水を入れてと言ったのに。
 ウブリャヌルナル……………水をいれるとぬるくなる。
 ウベニャアチード……………水を入れないと熱い。
 ウマイチョウシヒッカカル……………畏にかかったけれど。
 ウミーチュウタニマダカ……………水をいれるよう頼んだのに。
 ウメード……………おいしいでしょう、格別な味が。
 ウムリャイツデンヘーレ……………水を入れたなら入浴して。
 ウモドチスワッタ……………卵生むかも座ったようだ。
 ウユウミリャツダーハケン……………人を恨むと自分に帰るもの。
 ウランヤメホタレ……………外に出して勉強するががいい。
 ウレンサキカル……………熟れない内に買い取り契約、予約。
- え エータゴタル……………沸いたようだから。
 エヲカキャイロチョウグ……………絵には色絵の具。
 エガオヒャクナンカワス……………笑顔は百難隠す。
 エガマンゴツセニャ……………曲がらないように。
 エギーナドイモ……………喉を掘るような芋の味。
 エクボンナンノガレ……………えくぼは難儀を避ける。
 エグーダンモツカイヨウ……………曲がったのも価値あり。
 エグーデンヤキータツ……………曲がったのも使いよう。
 エグージクワレン……………喉を掘るような味がする。
 エサンジョウクウヤツ……………餌ばかり食べ産卵しない。
 エジキナッタゴタル……………畏にはまったようだ。
 エズナリャモドレ……………怖くなったら戻りなさい。
 エダギジゴムジュウ……………枝の股を利用したゴム鉄砲。
 エタナンカユウナ……………差別用語…江戸期に呼称されていた。
 エヅカリャスンナ……………怖いならしないように。
 エツリタキャナツキレ……………土壁の中に使う竹は夏に切れ。



え エテコーントシカ……………猿年ん事か。
 エドウチャッチャレ……………枝を打つ《切り落とす》て成長促成。
 エニナリャホシチヨケ……………柄になるなら干しておきなさい。
 エバンコムギコ……………蜘蛛の巣に着いた精米所の飛散した粉。
 エビゴシャコマル……………海老のように腰が曲がると大変。
 エブンチータヌサキ……………荷札の付いた分を先に。
 エラシイ……………愛らしい、可愛い姿。
 エラブッテンシレチョル……………自惚れも知れたもん。
 エラガイキチョルえらが……………新鮮だから生きがいい。
 エリュウタチー……………襟をきちんとすれば品位も。
 エンヤラエートスダ……………やっとの想いで。
 エンリョワソンスル……………遠慮も時には生意気に取られる。
 エンリョモホズホズ……………遠慮すれば損する。

お



オーゴツツクリタテタ……………大変な事になった。
 オイクーデンニグル……………追いこんだのに逃げた。
 オウタコモダッチョル……………背中の子も疲れたよう。
 オオカッタンカ……………多かったですか。
 オオカタワカッチョレ……………大体の事は解っている。
 オガマルリャノヤ……………拝み倒されて負けた。
 オカシュデンワラエン……………おかしいのを堪える辛さ。
 オキッパナシ……………置いたままに、放置して。
 オキンウイー……………炭火の上に。
 オキジャキ……………炭火ですから。
 オケノジメガサメン……………起きたばかりで目が冴えない。
 オケレタゴタルド……………どうやら起きたようだ。
 オケラレンゴツナッタ……………起きられないようで。
 オケレメーゴタル……………起きられないだろう。
 オケレンゴツナッタ……………起きられないようになる。
 オコシジアラリユー……………炭火であられ《餅を賽の目に》煎る。
 オコッタカオンエエラシ……………怒った顔も愛敬がある。

★ 娘 18 番茶も出ばなと言うが笑うも怒るも可愛いもの。

お オシキ……………お祝などを差し出す際のお盆。
オジカッタ……………恐ろしかった、怖かった。
オサシジアソブ……………女兒のお手玉遊び。
オシモンヌミヤギー……………らくがんの土産を。
オスソワケンヨシミ……………珍しい物を配って分ける。
オソソハサムネーカ……………女兒の性器は寒くないか。
オダテニノリヤシー……………調子に乗せられて。
オタンコナスンゴタル……………変わり者のようだ。
オチンチンサムネーカ……………性器は寒くないの、出したままで。
オツモリスルカ……………おしまいにしますか、終わりにしょうか。
オトロシワリー……………特別に悪い状態。
オテツキモチ……………結婚式にだされる紅白餅入り吸い物。
オトキーナッタ……………童貞を破ったど。
オナギーナッタ……………初性交されたから晴れて。
オニナッタキヤメタ……………鬼ごっこで鬼になり止める。
オバルリヤスグネル……………おんぶしたらすぐ寝むる。
オビガズリオテチ……………帯が緩んで落ちる、みつともない姿。
オブキブククリー……………おんぶするから子守半纏を。
オバレンゴツヒジー……………子守も出来ないほど疲労困ぱい。
オボエチョランキ……………覚えていない、記憶がない。
オマイガンワナオセ……………お前のはしまっておきなさい。
オミーケンドノヤ……………重いけれど大丈夫。
オモイデータド……………思い出しました。
オムカリャオロセ……………重いようなら下ろしたら。
オメコハカクサニャ……………女性性器は隠しなさい。
オヤンマニャスンナ……………親の悪い素行を真似しないよう。
オユーコエニャノヤ……………人間的に親より出世成功しなさい。
オランルシトラルル……………不在の時に泥棒が入る。
オレガンナヤンガン……………俺のはお前のもの共同物。
オリコ……………聞き訳のよい子、手のかからない育ち。
オンダコガオソユル……………背中の子供が道を教えて。

方言の楽しさ温もり…方言単語追加としち続編No.6にも『あ』
かる『わ』まじ 約1500語が入ったんで。2つの単語がひっつ
いた連続単語もあります。ところじ同じ意味もんでん単語が ち
っと違ふと別ん意味になったり 愛らしい意味になったりもする。
それがまた何とん言われんエエラシ。お風呂に関わる事2つ3つ。

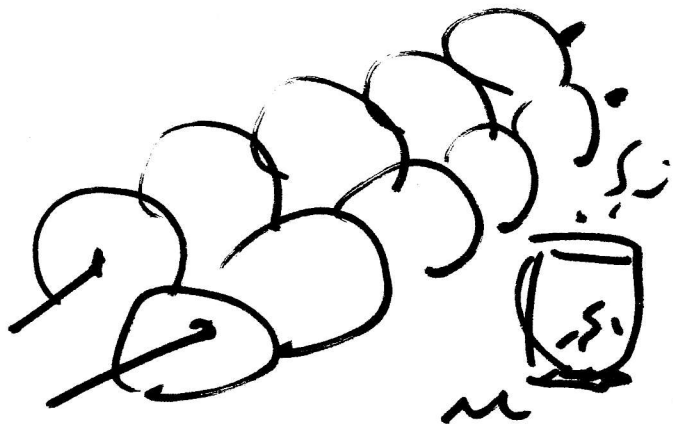
ウメチャル、ウメチャレ、ウメチャンナー、ウメチアギー、なん
かは…お風呂が熱いき少し水をいれてあげなさい。の意味がこめら
れちよる。沸かし湯にゃごえもん風呂じったき 風呂釜ん一部にゃ
沸かず時肌があたってん 熱うね一場所があつた。他の部分は煙
道じ燃やすと熱い。反対に温度が下がちぬるくなると こん煙道
に肌をあつりゃこらえらるる。

イッパイヨンジョクレ…貰い湯が多かつたき隣に借りにゆく 薪
ぬひと抱きかかえち行くと そこんしは入らんじ湯加減もゆうしち
すぐでん入らるる。遠慮してん悪いき先に借ると 人ん心ん温もり
が身も心も包んじくるる。『加減などげー』 そん一言が又もう涙
滲まする。そこんしは入るぬ隣んしに譲ち待ちよる。

若い嫁さんかは残り湯になるけんど 若い者同志は湯加減を気づ
かい 燃やす煙りが苦労ん涙誘わせち 互いに愚痴もこぼし合う。
そげな時間がありゃこす辛抱もでけた。白髪になった頃には縁先じ
皺ん手じ 甘酒うすすりながら『あん時やなえ』 顔見合わせち笑
う横顔…それがでくる幸せん今。

オゴッソナリマシタ…先にごめんな。『マアヨッチイカンナ』
『オオキニ マタヨルワ』 障子うあけち『薪なんか持ちこんで
んいいに』『いんげほんのひとにぎし』 控えめにヒトニギシ…こ
ん気持ちが遠い親戚よりゃ近え他人の絆になるもん。こん家ん若嫁
が終い湯に入ったぬ隣ん嫁が湯加減ぬ聞く。『悪いな一いとさしく
べちよいちくるる』『いいで ゆっくり入ってな 先にお一きに』

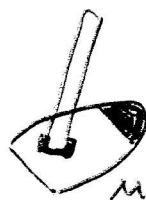
馬子具
成机



野津原が新聞小説ん舞台になった 時代もあっち禅寺ん和尚が顔を覗かせた。きりっとした風格じ目が鋭いき 悪者にゃ苦手な存在じゃつたが 人間的にゃ仏に仕ゆるだきーに 諭す語りかけにゃ心が浄化されよった。若い二人が駆け落ちする様に 小遣いは持ち取るんか…心配する形相には思い変えたとん言う。

夜遅うなっち帰ったところ坊守りが 白河夜船じゃつたもんじゃきぬりい湯に辛抱しち入った。ところが坊守りがさめち終い湯ち思うちへーた。ぬるいどげーしゅーち思案しよったら パチパチ豆殻が燃えよる。和尚がむげねーち思うたんか自分なぬりーぬ辛抱しち入ったが 沸かしちよるなんか どげーなふんと。

こん和尚が新聞小説ん主人公ちあっち そんな頃ん地域がなんとまゝ描きだされたもんじゃき 読んだ若い娘が仄かん夢湧かし 嫁入りする事いになった事実もあつた。若い男と女ん心ん縁は昔も今も同じ夢。美人が輿入れしち結ばれち 百姓に取り組んだあん頃ん和尚ん 人となりも評判じゃつたもんじ今も 話にちよいちよう出ちくる。



方言が珍しゅうじ難しいち言よつたんが いつん仲間えか平気じしゃべるごつなっち そこにゃ優しゅうじ思いやりがある言葉に 苦勞も忘れらるるごつなっちしまう 人間の運命も隠されちよるんかん知れん。裏戸口ん側じ立っち涙ふく嫁 隣んばあさんが見かねち『ちよいと来なー』ち 呼びくーじ『辛抱しな一え皆一緒じゃ』言われち里ん 親が浮かんじくと『やっぱじゃ』ち 思い代えもする夜更け。『おおきに……』『もういいんな』 顔見合わせる時 里の母親に似通うのん情があるけんじゃろう。

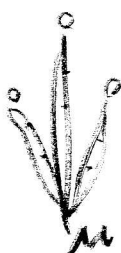
『湯に入ったんな』『……』黙っち首をふった。風邪うひかんごつ…目と目じ見送る時 他人と思えんごたる隣んし。じゃきこす明日もあるんじゃろう。『おおきに』 夜風は冷てえが心は温い。



萝卜菜

か カオーホス……………川を干して魚捕り。顔洗って乾かす。
カオーカブツョル……………男性性器の幼児期。初すり前の状態。
◇◇カエ……………そうですか。いりませんか。食べませんか。
カケルルゴツナッタ……………書けるようになった。
カケンカチオムータ……………書けないかと思った。
カケメガサミー……………計量で少し軽い。
カゴントリャテオダスナ……………一人娘には手を出さぬよう。
カコカシテントイシャカスナ……………減るものと減らぬもの。
カザオレ……………風で吹き落ちた木の枝や竹。
カズトラニャ……………石垣積み角を上手に仕上げないと。
カダクロータインダ……………感ずいて帰る。
カタグリャイイイッカ……………同じ程度のもの。
カックリカエーチ……………掻き散らかして。
カテーヌカムンカ……………固いものを噛む、難しい物に挑戦。
カドエモーサン……………多すぎて、予想以上に。
カトーツケチャル……………切りをつける。決論を出す。
カナクギジ……………金の釘で、曲がりくねった物。
カニササレチショウネガセイル……………苦勞して一人前。
カネンワラジンアネヨメゴ……………姉さん女房。
カビーメバリュウ……………隙間風を防ぐ。
カブッタブンマドエ……………損した分は払いなさい。
カベツチャフンダカ……………壁に塗る土を踏み練る。
カポータブンナユウデケタ……………念入りした分はよい出来。
カマブタブセジイイ……………つぎはぎ補修でよい。
カミダネナユウホコエ……………神棚に苗を供えて。
カミナリャカエヘーレ……………雷鳴には蚊帳に入る。
カメルリャイイノ……………噛めれるのは幸せ。
カメレンゴツナッタ……………噛めれないようになる。
カモードチモモグレ……………噛みたいが舌で押し差しする。
カヨーツラニャ……………蚊帳をつらねば蚊が飛ぶ。
カヨーテンゴツソーハネー……………通ったが思いかなわず。

- か カラウサヒクナ……………物を入れずに臼は回すな。
 カラウス……………物を入れてない臼。
 ガランネー……………ふさわしくない。
 ガラニヤニヤワン……………風体がそぐわない格好。
 カルーチカイリャヨカッタ……………背負って帰ればよかったのに。
 カレキャヤマンジャマ……………枯れた木は山の恥さらし。
 カンコロホセヤ……………甘藷の干した保存食。
 カンガヨカッタナ……………湯加減はよいですか。
 カンイイカエ……………湯加減いかがですか。
- き キイチユータ……………来るように言われて。
 キオヤルド……………精液を射精する。
 キカンドチスルキ……………言う事聞かなくて。
 キガキーチマガヌケチョル……………知恵者の抜け尻。
 キゲンノワリノニャトリアウナ--- 難し者は疎外。
 キゴコロシレチョリャ……………知りすぎる性格。
 キコドチ……………聞こうと思って、聞きたいから。
 キサネーマンマジ……………汚いままで、不潔な格好で。
 キジアタモーワラワレタ……………下手な散髪頭を笑われる。
 キズンチータカンラン……………傷ついたキャベツ。
 キセリュユウツカウ……………たばこ好きな人の休憩。
 キタンナラヘーレ……………来たのなら入ったら。
 キタママンヌレボウズ……………着たきりの濡れた姿。
 キチョキャイイ……………来ておればよい。
 キチクリー……………来てください。
 キチイ……………疲労した。辛く痛ましい。
 キチョウメンノシリヌケ……………堅物のわりに尻細。
 キツネーノヤ……………楽しいですよ。疲労していないよ。
 キテンイイキ……………来てもよいです。着てもよいけれど。
 キナゴナラント……………相手に上手に合わせて。
 キナ……………来なさい、着なさい。黄色。
 キニイルメーガ……………気にいらないだろうが。



き キネーナノー……………黄色いのは。
 キノドキクネーカ……………気の毒な事はないですか。
 キノドカマサカリ……………気の毒《木の毒は鍼ち言う》んたとえ。
 キノネーヘンジュ……………乗り気のない生返事。
 キネーナネエカ……………黄色な物はないだろうか。
 キマメネチョレ……………納得行くまで寝たら。
 キミズガアガル……………胃液があがって。
 キメラレンド……………決定できないよう。
 キャットシタバッカリ……………いいことしたばかりに。
 キヨウビンボウ……………器用すぎて貧乏する。
 ギリギリハオカム……………悔しそうに歯ぎしりする。
 キラレングチトジマリユ……………来られないよう戸締まりを。
 キラスブゲン……………おからだけの経済生活で富豪に。
 キロウチョリヤ……………嫌ってれば。
 キリュツケタド……………切りがついて。締切りしました。

く



ル

クアミルヒアイ……………苦勞する借銭の利子。
 クイジョウネワリー……………食い意地が悪い。
 クイタムナガル……………食べたくないらしい。
 クイチャーテン……………食いついても。
 クイタカリヤヤンシヨ……………自分で準備をなさい。
 クイハグレンネー……………食べ損ないなし。
 クイパクリャネー……………食べ損ないはない。
 クイッパナシ……………食べたままに礼儀知らず。
 クウタンナラヌグウチョケ……………性交したのなら拭いておけ。
 クウテンシヨワネーカ……………食べても大丈夫か。
 クエレングツクウナ……………程度物、万腹以上に食べるな。
 クオミリャラクモアル……………苦勞ん後は楽な事も。
 クギュサシャニゲメ……………引導渡したから。
 クグラニャカガヘール……………くぐらないと蚊が入る。
 クグッチキタケンド……………忍びこんだが。
 グクリモウサンキ……………束ねるには多すぎて。

- く クサツテンタイ……………変わっても品位は変わらぬ。
クジュツクッタナドイツカ……………籤引き籤作りは誰ですか。
クジュウイッペーナラブル……………文句を並べて言い訳。
クジュイワニヤイイシ……………文句を言わねばいい人だが。
クゼンツータナオシ……………壊れた睦の補修。
クドンハタンマタアブリ……………寒い日の股火はなにより。
クドダケジャーナミダ……………煙りだけでない涙隠す。
クチンハトファイチョケ……………良い事の後には上手に繕う。
クチャネ……………食べては寝る贅沢生活。
クダスゴタラクウナ……………下痢なら無理に食べない事。
クチュウユウサイダス……………横から口を差し込んで。
クツションナカゼド……………くしゃみは風邪の前ぶれ。
グデツクナショワネーカ……………甘え愚痴でまとわりつく。
クドンハテーキー……………くど《炊事用の竈》の側にきたら。
クニナンナヘソンシタ……………臍の下が気にかかる。
クネラセタキヌケン……………腰の使いすぎから抜けぬ。
クノアタラク……………苦労したから楽も来る。
クバツタオマツリモチ……………おすそ分けした祭りの餅。
クビーヌリード……………燃やしてぬるいから。
クブルキヘーナ……………燃やすから入って。
クベタキワクワナ……………燃やして入り加減になります。
クボンダキオカシイデ……………引っ込んだからおかしい。
クマントスワレン……………組まないと座れない。
クマントスワレン……………抱かないと吸われない。
クミチーチセリカヤス……………組んで押し倒す。
クムトオシタオサルル……………組みつくとすぐ押し倒す。
クメタンナラセミー……………組んだら攻めないと。
クモーカユーハイルド……………それぞれ組めばよく入るよ。
クローンワリニヤシリヌケ……………苦労人もケチなら知り抜けも。
クラスミンアナイレ……………暗くても違はない慣れたもの。
クラスミンコウミ……………暗くても子供は生める。



- く クルワレテンクイテーカ……………叱られても食い意地。
クレンゴタラジブンカタン……………貰えないなら家ので。
- ケ ケーレ……………帰りなさい。
ケーレンノカ……………帰れないのか。
ケーレンカ……………帰れないか。
ケーリヤ……………帰れば。
ケーリテーカ……………帰りたいですか。
ケーリタガル……………帰りたがるから。
ケーリタカリヤ……………帰りたいたなら。
ケールンナラ……………帰るのなら。
ケーランジョケ……………帰らないで居なさい。
ケーツチョツタンカ……………帰っていたのですか。
ケオムシラルルド……………ひどくいじめられる。
ケオミセブラカス……………陰毛を自慢ぶる。
ケガスクナカリヤカゼトウシイイ…陰毛少ないは通風がいい。
ケゴシチワズラウ……………怪我したばかりに発病。
ケゴスリヤキオツケダス……………怪我して用心するように。
ケゴセンウチヒケ……………怪我しないうちに退散。
ケサンマニインダ……………今朝がた帰った。
ケサンゴツセニヤ……………消さないようにしないと。
ケスナノーナル……………消したらなくなってしまう。
ケソウチオムータニ……………消したいと思っていたのに。
ケソドチャケハトシタ……………消すのに火傷した。
ケダリーキヒジイ……………疲労した体調で辛い。
ケタケエテントイシャカスナ……………尻は貸しても砥石は貸すな。
ケツランジョケ……………取り合わないように。
ケックシャショウメガイイ……………結構大丈夫なよう。
ケツンオーゲナシ……………尻が大きいのはしっかりした者。
ケツローチョケ……………適当にあしらって。
ケツマランコツ……………取るに足りない話しや動作。
ケチラケーチアシュタゴカス……………暴れて足を痛める。



け ゲドンジョウガ……………役立たず者ばかりが。
ケチトヨクシュウクラベ……………どちらも相当な欲張りか。
ケチーヒガチータ……………予想以上の大変な事が起こった。
ケチーヒガツク……………慌てて対策をしないと。
ケトウジンガ……………本当につまらぬ事ばかり。
ケナサルリャ……………悪質にいじめられる。
ケニカジャサビー……………陰毛の悪戯には寒い予感も。
ケヌイジミラレタ……………うっかり見られた醜態。
ケノネーノンスズシイ……………陰毛のないのも涼しい。
ケノネーモンノゴツ……………頭ごなしの暴言。
ケバラニャモウケン……………頑張りが儲けの秘訣。
ケバッチョリャツイー……………頑張っていれば強み。
ケビーグレヘトンネー……………煙たいぐらい気にならない。
ケミーナケブリダケカ……………煙たいのは煙りだけだろうか。
ケブテーナベッピン……………煙りは美人の方に行く。
ケブタガラルリャノヤ……………忌み嫌われる性格。
ケマエータナワルカッタ……………蹴ったりしたのは謝る。
ケミーゴツモエン……………煙たいばかりで燃えない。
ケミーナナマシイキ……………煙たいのは生薪だから。
ケムタガラルリャシマイ……………嫌われ者にはならないよう。
ケムテーデンコライー……………煙たくても我慢しなさい。
ケモータチイウカ……………死んだと言うのですか。
ケユードチアコナッタ……………消える前か赤くなった。
ケヨリャアナガイイ……………本音は陰毛より穴の方が。
ケラレタトキンアト……………蹴られて傷ついた跡。
ケリガツキャイー……………決着がついたなら最高。
ケルナラカンガエガアルド……………断わるなら考えがある。
ケロットシチオジモン……………平気の平座で度胸者。
ケワネーンガスズシイ……………陰毛は無くてもかえってさばさば。
ケワノーデンヤクスル……………陰毛は無くても活動は満点。
ケンコシチバンナナカユウ……………喧嘩も見せかけ夜は仲良し。

- こ コーテンネーナウマンツノ……………珍しい物の代名詞。
 コータンカドンゼニジ……………買ったのはどのお金で。
 コーゼンセント……………このようにしたなど。
 コイサンヨリヤ……………今晚の集まりは。
 コイサデンツクロウ……………今夜でも修理しておく。
 コイタマードウジャロ……………予想外の珍事。
 コエタガーアロウタカ……………肥桶は洗ったか。
 コウセニャスマンド……………こんなふうにして。
 コガタノカセ……………ナイフ貸して。
 コガナクキ……………見送りの上手な断り。
 コキデンヨッチヨルカ……………ここにでも立ち寄ったか。
 コキデンウエチョケ……………ここにでも定植して。
 コクスミヤ……………ここが終われば。
 コクーサコーチョル……………ここが境になっている。
 コゲンコター……………このような事は。
 コゲー……………こんなに、このように、こんなにも、こちらに。
 コゲンコツモヤッタ……………こんな事をした時。
 コケマワッチワラウ……………余程のおかしい嬉しいのか。
 コジキポーズ……………物貰いの人《差別用語》。
 コスーナッタイエモチ……………賢く経済家になる。
 コセコセショツチ……………落ち着かない性格。
 コソットヘーレ……………静かに入りなさい。
 コタタヌクイド……………火燵の中は暖かい。
 コタユリャセンゴタル……………一向に骨身に応えない。
 コタエンゴツイイノヤ……………最高を満喫する感触。
 コッケムクリ……………慌てまくって。
 ゴツソリモラエ……………欲張って沢山貰うように。
 コッチクリャオジイ……………こちらに来ると怖い。
 ゴテシン……………さぼりの性格、物事に前向きで取り組まない。
 ゴテシンノセチバタラキ……………日頃働かず節気に働く。
 コデマチャアデンブンガヒリー……………小さい田は畦が広く得。



- こ ゴトットンセンノヤ……………経済安定、泰然自若としている。
コニクラシイ……………負けるが憎らしいほど尊敬。
コデンカブセチョケ子……………供にかけて風邪ひかぬよう。
コナンナチユウニ……………来なさんと言うに。
コニャセンジョケサカクジュ……………子供にはせぬ事逆苦言。
コヌカサンゴウヨウシナシ……………小糠3合あれば養子に行くな。
コネボーカシナ……………箸を貸してください。
コネテンドカンキ……………動かないからやめなさい。
コノクシャオヤンツミ……………子供の癖は親を見て成長したから。
コビリャアンニイケ……………仕事おやつは庵に持参してある。
コブリュウクワンナ……………仕事休みのおやつはどうですか。
コボサンゴツクエ……………こぼさないように食べなさい。
コマンナシッタコツ……………困っても知らないから。
コミセンジシミー……………木の角などの緩み止めの栓。
コムトキャサキシ……………混むなら先に延ばせ。
コメンコンチチガワリ……………米の粉利用の母乳代用乳。
コメメシャウメ……………解っていても貧しいと漏らす。
コメンダング……………米の粉のダンゴ。
コモッタナヒズカロウ……………妊娠で賑やかになるの大事にな。
コモリンヤクノガレ……………子守すれば一人役。
コヤンスミャヌクカロウ……………小屋の隅じ抱き合って。
コユーヒキダシャボン……………肥出し済めば盆が来る。
コヨーツカウタウメーノ……………小屋を使うとは頭がいい。
コラレタンカイイノー……………来られてよかった待っていた。
コラレンジャロウカチ……………来られないかと思っていた。
コリュヤロウ……………これをあげましょう。
コリャムリチオムウ……………これは無理かも知れないが。
コレダケ……………このくらい、この分は、ここにある物は。
コレシキジナ……………これくらいで、これくらいの事で。
コレダケタメタド……………これだけ成果、借金、名誉地位。
コロガリャシマイジャ……………無駄すれば元の木阿弥。

こ コンウイーノセチョケ……………この上に乗せて行けば。
 コンオレジャワリーカ……………この俺では悪いですか。
 コンカソーサーチカエレ……………この傘をさして帰ったら。
 コンクレデンイイカ……………このくらいでよいですか。
 コンゲガチケーデ……………こちらが近いですよ。
 コンゲサネネジー……………こちら向きに曲げなさい。
 コンサオドゲースル……………この勃起性器どうしたら良いの。
 コンシガウットーン……………この人が私の彼氏です。
 コンダクルトキャ……………この次に来的时候。
 コンダイクトキャ……………この次に行くときには。
 コンチキショーナマイキナ……………この野郎は生意気で。
 コンテガワヤクスル……………この手がよからぬ悪戯をする。
 コンナケヘーレ……………ここ中に入りなさい。
 コンノンワルユー……………必要以上に悪く言う。
 コンバンナカキマゼド……………夕食は混ぜ合わせご飯ですよ。
 コンベデンクリャイー……………今晚にでも来ればよい。
 ゴンボンキンピラ……………ごぼうのキンピラ料理。
 コンメーモンデンアリャフチー……………小男の突然太る性器。
 コンマキャショウネガチガウ……………根気比べの性根の違い。
 コンモリャヒイキジャノ……………こそっと盛り上げたのは晶眞目。
 コンメクシオコルトフトル……………小男でも立派な持ち物を。
 コンヤンイノコ……………今宵の亥の子行事の童歌。
 コンヨガオジイヤラウレシイヤラ…初夜の怖い嬉しい気持ち。
 コンモデンコメンダンゴ……………小さくても心も味も確かな者。

方言単語の『あ』から『こ』までが 出揃いましたが読者の皆さんは幾つ解りましたか。地域によっては多少の違いはあります。また差別用語も入りましたが方言集の 性格上あえて記録に入れました。
コソ ところで『コン』から広がる方言について 並べてみますと多くの意味に連なっています。このように古くから使われている生活用語の 方言には心を結ぶ絆にもなります。

『こん』から広がる意味の使い方を拾って見ました。3字目に連なる方言によって…

この、これ、こちらに、こんど、こん、今日の、今夜、ごぼう、ちいさい、根性、今晚、夜が、…など 同じコンでもかなりの 違った意味が連なっています。方言にはそのようにして 方言の組合せで相手に即答できる 気持ちの鍵と当たり障りのない 気持ちのふれあいとが 加味されているようです。だから人の情愛も言葉の中に添えられている これが生活の中に溶けこんで 相互扶助する優しく温かな心になったのでしょう。

『イイデ』…よいですよ《承知した、どちらでもよい、いりません》。のようにひろがり 言葉によっては 全く反対の意味にもなります。

『ホンナナ』…それでは《お願いします、断わってください、皆さんと同じに、又の機会に》。のようにひろがり 言葉によっては 断り上手な言い回しにもなります。

生活するための上手な手段でもあり 相手の心情を大切にする心の使い分けが 隣近所や回りの人たちと 常に助け合う倫理をわきまえた 日々であったのでしょう。貧富の差も激しかった昔の生活には 欠かせない仕組みを上手に使い分ける それが理想的な手段でもあり 幸せな家庭づくりであったのでしょう。

『あ』から『こ』まで 今回も単語追加として542語が 入りました。単語集…前、後編と追加編に加えて 約15500語程になりますが 勿論方言ではない単語もあるでしょう。でも調査期間でご協力ご支援いただいた 皆様の気持ちを大事にして この中に入れました。専門書ではありませんので ご愛読の皆様のご理解をお願い申し上げます。



ここで一息入れてもらって 五助さんに街道馬子歌ばやしの話をしてもらいましょう。ゆっくりと。

五助
大武川



『痒うじ仕方ねーに』

薄ぐれージミン灯が五助さんの話う よきー聞きとうするなどうした事か。若えしん楽しみでんあるき コイサも暑うでんヨキー集つち 生唾飲むごつ鬘のり出えち聞きよる。『痒うじ仕方ねーに』辛抱しちよつたにもう 堪えきれんごつなつたんか 五助さんに言いてーぬエート堪えた。

『入れちよくれ』 そこまじ言うなら『なし言わんのか』ち 怒られそうじゃし他んしに 話が乗ちよるに水さすごたる。年頃ん若え娘が『痒いき入れちよくれ』 柔肌う思うと一番星ち飛びつくかん知れん。話が弾むもんじゃき人ん事お耳に入らんのか 回りんしもせせろしいち横目じ睨うじよる。

★ ジミ…灯芯に使う物。よきー…沢山。するな…なるのは。どうしち…どうして。あるき…あるものだから。コイサ…今晚も。出えち…だして。仕方ねーに…仕方ないのに。しちよつたにもう…していたのに本当。きれんごつなつたんか…我慢できなくなつたようで。エート…やっど。入れちよくれ…入れてください。そこまじ…そこまで。なし…なで。他んしに…他の人たちに。乗ちよるに…最高潮なのに。ごたる…ようですから。1番星…初めての。せせろしい…うるさい。

たまらんごつなつた娘が言った。『もう痒いき入れて』『何やそげー痒いいんか…どう見しい』 見りゃ白い肌にゃなんと幾つも刺された 蚊ん赤あざぐっしり。『早う蚊帳ん中えへーれ もうむげのこされこげ食われち』 蚊帳ん外じゃ無理もねーが あんまりん辛抱したんが 妙な風に聞こえち うーけな損害じゃつたのー。

★ ごつなつた…ようになつた。そげー痒いいんか…そんなに痒いのか。見りゃ…見れば。ぐっしり…そこら一面に。へーれ…入り

五助
大行



なさい。むげのこされ…可哀相で仕方がない。こげ食われち…こんなに刺されて。あんまりん…非常に長く。妙な風に聞こえち…変なふうに聞こえたのも 娘が痒いと言えば年頃ん色気が蒸発するような痒さ…蚊帳の外と内でのトラブルが 突飛もない結末になった。風流唄にもあっち…『入れておくれよ痒くてならぬ 私1人が蚊帳の外』 文字通り上の句は謎かけで 下の句が謎解きである。

『薬がこいゝぬきーど』

薬んぬくもりゃ寒い時にゃ風もよけちくるる。音もよけちくるるきヒョイト眠っちしまうと 捜しまわっち怒られたこともある。『いっときよこいにゃ こかーいいなえ』『りゃーしょわねーんな』 若え二人にゃ悪い悪いたーイイデの代名詞。薬ん音がいつんなかめーかせんごつなつた。

握りしめたんなけっくしゃ大けなの。ひとりゃまあ探りよる。『そっちゃ悪いで』『こかーいいんな』 艶かしい声がいっとき静まりかえっちょつたに 薬ん音に伴奏さるるごつ聞こゆる。顔色が目の色まじ変わっち そこらあたり手当り次第に 手をさしくーじもう満足したごたる顔。

★ くるる…くれます。ヒョウト…ふと。いっときよこいにゃ…少休止には。こかー…ここは。りゃーしょわねーんな…あら大丈夫。悪いたー…悪いとは。イイデ…よいですよ。せんごつなつた…しないようになった。けっくしゃ大けな…結構大きくて。こかーいいんな…ここはよいのですか。ちょつたに…なつていたのに。さしくーじ…差し込んで。

やっど探りで一た芋《甘藷》そろそろ 皆が待っちょる広場え 運うじウムシち食うかな。ままごと遊びゃ又あとじなえ。顔が

えぐーだごつ喜ぶなぁいい事もあったんじゃろう。そう言ゃ昔ん『ままごとあそびゃ』ち 口ごもったんな未練もあったんかな。堀で一え芋が広場じウムスと こいさん藁すぐりん段取り相談がはじまる。

『お医者さんごっこ』したしが 向こう側に座ちよるもんじゃき さっき言われた『ままごと遊びゃ』 ひょかっと思いでえちしもった。何も知らんじゃつた頃ん遊びでん いつん間にかいろいろん事ゃ知ると そりゅゃあんげこんげ繫いじ見る。藁ん中じ指しくうだ指先んあん気持ち なんか思いで一てん嬉しい。

- ★ ウムシち…蒸して。ままごとあそび…幼児期の無心な頃の遊び。あとじな…あとの事にしましょう。えぐーだごつ…よがんだように。あったんじゃろー『あったのでしょう。たんな…たのは。こいさん…今晚の。藁すぐり…藁の袴をとって俵、縄などに利用する。だんどり…打合せ。お医者さんごっこ…お医者さんと患者との遊び…まだまだ幼稚な遊びだったが…。ちよるもんじゃき…いるものですから。ひかっつと…突然に。しもうち…しまった。じゅつた…知らなかった。そりゅゃあんげこんげ…それをあちらこちらと。指しくうだ…差し入れた。で一てん…だしても。

経験のあるしも多いごたるが それが農村の純朴な世界でんあつたき やんがち若いしも思いで一えちそれが 仄かん恋になり芽生えち夫婦になる事もあった。恋じ別るる嘆きもありゃ別離ん 悲憤に泣く場面も人生の縮図は……。藁ごすみにゃそげな人生ん喜怒哀楽が 繰り広げられた舞台でんあった。五助さんがニヤット笑うたな 自分もひょいとすりゃあったんか。そりゃ聞くまい野暮ち言うもんじゃき。



方寸築結



さ サーチャホナク……………すぐ泣き出す癖。
 サーチュウテン……………すぐと言っても、急に言われても。
 サイダスナワラワルル……………そんなおかしな物で笑われる。
 サイダシャトラルルサカンノテゴ……………決まった運命に諦め。
 サイチョルカン……………咲いているかも。
 サエンヌアラスナ……………近くの畑を荒らさないよう。
 サオタキャナツキレ……………竹竿は夏に切る物。
 サオガテントハル……………性器が持ち上げている。
 サカロートンコマル……………反対しても無理だろ。
 サカシスグル……………元気すぎて。
 サカクジュコネテンモウケニャナラン……………逆らっても損をする。
 サカリネカセワシイ……………交尾頃の猫はうるさい。
 サキナラセワシュナル……………先になると忙しくなる。
 サキナリャヨダキー……………時がたつと意欲がなくなる。
 サクーチョリャユウミヨ……………境は入念に。
 サクーテンナカヨシ……………お互い隣でもなかよく。
 サケノミンクリゴツ……………酒飲みの悪い癖のしゃべり。
 サケンカサーミソシリ……………酒の粕は味噌汁によく似合う。
 サコンタワカクシタカ……………山間の小さな田は内緒に。
 ササミダーウメー……………岩清水の笹色の天然水はおいしい。
 サシカタグル……………両方から担ぐ。
 サシジケンソシチミヨ……………差しで検査を実施。
 サジケンササジキマリ……………差し道具での検査は差しで決定。
 サズマウジョウズモン……………さっと手回しの上手な人。
 サズリャモチッタアル……………集めればも少しはあるはず。
 サゼクビーフリー……………集めて風呂炊きに燃やして。
 サセテンイイガカブセナ……………してもよいから後は覆いして。
 サセタナオボエチョケ……………許した人は覚えておきなさい。
 サソーチャリャイイニ……………誘ってあげればよいのに。
 サタンネーナサカシイ……………便りがないのは元気な証拠。
 サッチャイイツノル……………どうしても言いたすと引かない。



さ サッカリンデンウメー……………人工甘味剤でん使いよう。
サデマエチモッチキタ……………全部集めて持参。
サトンシャクチヤエ……………里の人たちの人情こまやか。
サトンシンチエブクロ……………里の人たちの体験が役立つ。
サナブリャサケモチ……………田植えすんだら酒餅で慰労。
サナンスキメー……………蒸し器などのさなの隙間に。
サネンションベンカジ……………核が小便の舵取り。
サネンサシミ……………陰核の絶妙な味。
サネモフトツタカ……………陰核も大きくなったか。
サノカエニャコメガボル…蒸し器のさなを変えないと漏れる。
サバンシオモンヒトバリキ……………塩さばでひと頑張り。
サバヨミャソンモスル……………ごまかして損する。
サビナラカサネギ……………寒いなら一枚余分に着ては。
サビトキャハオカメ……………寒いときは頑張れば温もる。
サビカリャマエイレ……………寒いなら馬屋に入れば温かい。
サビーナカゼマエド……………寒いとは風邪ひきまえ。
サブトハズセクユルド……………水せきをはずさないと壊れる。
サブガランコハ……………寒さを苦にしない子供は元気。
サベシマイコトバニャナラン……………弔問は言葉を濁して。
サベノコリャモウケモン……………思わぬ残りがあつた。
サボーユーヅソンスル……………誤魔化したがつ局損する。
ザマミリャハガイイ……………笑っていたが悔しい事に。
サミクレコライ……………寒いくらいは我慢しなさい。
サミートキャカジュヒク……………寒いと思うときは風邪に用心。
サムカリャタコーカ……………寒いなら燃やしましょうか。
サムリャメサマシ……………起きたなら目さましを。
サムカリャダコカ……………寒いなら抱く事にしようか。
サメチョリャフカセ……………冷たくなつたら蒸したら。
サメタナユメカ……………覚めたのは惜しいが夢。
サメチョリャヌクミー……………冷たくなつたら温めて。
サメタコニチチノマセ……………起きたら乳のませして。

- さ ザモーミヨフント……………参ったか本当に腹がたつ。
 ザモーミレヌシトワロ……………参ったか盗人。
 サユジノマニャ……………白湯でのみなさい。
 サヨージャロウナ……………そうでしょうね。
 サラエラレチハジウカク……………繰り言言われて恥じさらし。
 サラケンニギリ……………頭の真上につむじ。
 サラモロータトシンヨ……………新しい物を貰った年末の夜。
 サラバカンフリュスル……………馬鹿真似するのも時には便利。
 サラエラルリャコマル……………繰り言言われると困る。
 サルマトハキカイ……………ばんつを履き変えなさい。
 サルマタヒムミヨ……………猿股《ばんつ》紐を締めなさい。
 サレンジャツチソンスル……………性交出来ず損をする。
 サレタンナダマツショレ……………性交したのなら黙認しなさい。
 サレタトキャイケンド……………許した時はよかったものの。
 サローワッタナドイツカ……………皿を割らかしたのは誰。
 サワグトソンスルド……………騒々しいと損をする。
 サワガンガトクカシレン……………おとなしくしていたがよい。
 サワグトミツカルド……………騒がしいと気がつかれる。
 サンチンメシモトキニャ……………雑穀入りの粗末な食事。
 サンワキヨコイ……………お産した後休養する妊婦。
 サンワンダンゴ……………井路補修のさんわ漆喰のダンゴ。
 サンニュデケタカ……………計算は出来たの。
- し シアバカンゴツアル……………手一杯の仕事がある。
 シイラモチモトキニャイイ……………餡の入ってない餅。
 シイチョルソバカル……………好きなのに嫌いな様。
 シエデンオシイノ……………実の少ないのでも勿体ない。
 シオキュミヨヤ……………塩按配に気をつけて。
 シオアンナドコンシカ……………砂糖餡を使わぬ餅。
 シカブリャアブネ……………下の粗相は危険信号。
 シカトシノーデンクエ……………珍しくなくても食べなさい。
 シキラントキャナロチョケ……………出来ない事は習う事。



し シキンナワカッチョル……………出来るのは解っています。
シクーシチマッタニ……………準備して待っていたのに。
シゲッチョリヤイイ……………成長して繁ってれば上出来。
シコータナコメメシ……………炊飯の準備したのは米飯。
シコスリヤイカント……………準備したのに取り止めに。
シザマナンカ……………仕事の後はだらしな結果。
ジジブリヤソンスル……………年よりぶれば損する。
シシミュホッタ……………しじみ貝を掘ってきた。
シズクドモフケ……………垂れているしずくは拭きなさい。
シソコノーチナクナ……………出来なくて泣くのは駄目。
シソコノートハンサク……………仕方が悪いと半分の収穫に。
シタンサキヒビクレ……………舌の先が熱くて痛めた。
シチミスリヤイイニ……………見本をして見せればよいのに。
シッチョルフリモ……………知っている自慢も時には。
シッタ布林オジモン……………知ったふりする豪傑。
シッチョリヤコンニ……………知っていれば来なかったのに。
ジットシチョラニヤ……………静かにしていなさい。
シテーナラコンヤキイ……………したいのなら今晚来れば。
シトメンヤッチャ……………どうにも手がつけられない。
シトメンナワルガキ……………困ったほど悪坊主。
シナリュウカワケーニ……………死なれますか若いのにかわいそう。
シナンチョル……………萎びてしまっている。
シナエチョル……………弱って萎びてしまう。
シナエヨル……………萎びてしまったようだ。
シナッチョリヤセンカ……………曲がっていればしない。
シニイソガンデン……………早まって死ななくても。
シニミダトツタカ……………末期の水は濡らしたの。
シヌコタネード……………死ななくても何とかなるから。
シヌホズヒズカロウ……………それほどまで苦勞していたのか。
シネルリャクガネー……………死ねるなら苦勞がないのに。
ジネントカルルワイ……………いつの間にかかれね枯れるだろうよ。

し シノードチスルシ……………死にたいと覚悟きめた人。
シノドチハリコミヨッタ……………死ぬ覚悟で頑張っていた。
ジビーウチャクウナー……………渋いのは食べられない。
ジビリュキレエチ……………しびれが入って足がじんじん。
ジブンジクーナウメー……………自分でないしょにこっそり。
シマイシゴター……………区切りのよい仕事。
シマリヤシリヌケ……………けちのわりには尻抜けも。
シマタシタカ……………始末をよくしたですか。
シミチータワリークセ……………悪い癖が無意識に出る。
シメタママヌケン……………絞めたのはよいが困った。
シメタンナラヤル……………締めたようだから希望叶える。
シモバレ……………霜で皮膚が痛む、凍傷。
シモタチオムーテン……………失敗と気がついたが。
シモータコツシタ……………失敗したが残念。
シャントトラマイー…逃がすな大きいど、しっかり捕まって。
ジャーチャ……………ですとも、同感です。
シャーネンカチ……………大丈夫ですか、心配ないですか。
ジャー……………そうです、間違いない。
ジャーチ……………ですとも、そうですから。
シャントヌベニャ……………しっかり伸ばして。
シャントセンカ……………心丈夫にせねば、しっかりしなさいよ。
シャデケートンカ……………やらかしたか、しっばいしたのか。
ショワアル……………心配がある、あてにならない。
ショウガツヨコイ……………正月の休み、年明けを祝って休む。
ジュジュグリー……………真っ黒い、意地悪く黒い色。
シランタナニゴツカ……………知らぬとは言わせぬ。
シラニャ……………知らないならば。
シレリュウカ……………出来ませんから、出来ないでしょう。
シレルルキイーデ……………出来ますからよいです、承知しました。
シロウドチセン……………知りたくもない、知らなくてもよいから。
シンケン……………熱心に取り組む、全精神集中して。

- す スアユークイター……………酢で和えた物が食べたい。
 スアワデンウメー……………酢の物もおいしい。
 スイチャツテンイイド……………好きになってもいいよ。
 スウテングレイエ……………冗談くらい言いなさい。
 スエタテクウカ……………腐敗したのに食べるの。
 スオカタシー……………酢を余分に入れて。
 スオキカスリャクワルル……………酢を多目にすれば食べられる。
 スカンチイウガ……………嫌いと言いなさんな。
 スカントレニャ大……………嫌いな人には、嫌味を言う人には。
 スカンデンミュウト……………嫌いなのに縁は不思議なもの。
 スカンチイウガスキンゴタル……………嫌いと言うのは好きな印。
 スキナゴツシヨ……………勝手に都合よいうように。
 スキナゴツスリャイイ……………好きなようにしたら。
 スキマカジャサミー……………隙間の風は身に染みる。
 スキヤッチイエ……………内気で言えぬ、好きですと言ったら。
 スグリワロカルデ……………仕上げた菓を借りるから。
 スグニャデケンデ……………急にはむりでしょう、早めに言って。
 スグデンクワルル……………すぐ食べられる、急にでも間に合う。
 スシナンカメツテクワン……………寿司など珍しいご馳走。
 スズナリャコンメ……………沢山実れば小さい、欲張りは実入少ない。
 スソマクリャミュルド……………裾からちらり見えそう。
 スソンカゼヨケ……………性器の風よけにゃ赤い腰巻が似合う。
 スットンキョウンジョ……………変わり者でも。
 スットンカオ……………知らぬふりの顔、吃驚したような顔。
 ズツネーコツユウナ……………嫌らしい事言うな、鬱陶しい小言。
 スッタチオモワルルド……………かすめ取ったと思われる。
 ステンデンツカイヨウ……………捨てなくても使いようでは。
 スデジャアブネ……………準備もしない手は危険。
 ストンカオユウナ……………嘘ばかり言うな。
 ストンカワトーラン……………嘘が通ると思うな。
 ストロクユウナ……………馬鹿げた事は言わないかよい。



- す スナツチャイモガウメー………砂土に出来た甘藷はおいしい。
 スニナッタラドブニスル………酸っぱくなったらドブ酒に。
 スヌゲタナメニナラン………中身が抜けたのは種にならない。
 スネマワリャエエラシイ………甘えそねばるのも可愛い。
 スノーカムゴタル………味気のない、砂を噛むような味わい。
 スバユリャオヤジガスウ…乳が溢れる時は親父が吸えばよい。
 スベルゴツシメッタナカ………滑りこむように潤う性器。
 スポニャナンナ………留守番にさせられるな。
 スベタリクウジコケタ………滑って転がり込んだ。
 スベタリコケタ………滑って転んだ。失敗して何も言えない。
 スマニャオヨゲ………潜れないなら《申しわけなければ》泳げ。
 スマンナスンジカルイエ………済まない前から言い訳。
 スミンホウジワヤクスル………隅っ子の悪戯、一目を忍ぶ遊び。
 スミタカリャオボルンナ………潜るなら溺れないよう。
 スメントキンハナシ………潜れない時の話、無理かも知れぬ時。
 スムトキャイエヤ………潜る時は知らせて、終わる前は連絡を。
 スユルゴタラクウチョケ………腐敗の心配なら食べなさい。
 スラジャキコエン………冗談じゃ気にいらぬ。
 スリアワセチタッタ………旨い具合に数が合う、よく揃った。
 スルンナラヘコハズセ………性交なら禪はずしなさい。
 スルナラハエーガイイ………早いのが得、遅いは誰でもする。
 スレチョリャキオツキ………成熟していれば用心しないと。
 スラデンマクル………冗談でも負ける、勝負運の弱い人。
 スランジョスナナ………賭けなしはするな、冗談ばかりするな。
 スラスラ………平凡の、冗談ばかりのたあいぬ。
 スンナイイケンド………するのはよいが。乗り気はないけど。
- ◇ スラ…本気でなく試合や遊びをする意味で 真剣勝負になれば
 相手から貰う条件がつくのが普通。勝負の前に練習する
 場合などにつかう方言。小さい子供から勝つ事がはっきり
 解る場合 騙して取り上げたとか苦言がでたり 誤解さ
 れるなどがこんな 至便な方言を生み出したのかも。

せ セイボンテノゴイ……………お歳暮に貰った手拭い。
ゼエゼエユウガ……………喉が異質の音を立てる。
セエタカノツポンオトコ……………背の高い男性。
セオコスド……………背中を越すほど勢力が溜まっている。
セカスリャチチムデ……………急かせると興奮が削がれる。
セガワンジョケムゲネ…からかわないよう可哀相。
セガウナユミユーミル……………からかうと夢に見るよ。
セカレチアワツンナ……………急がれて慌てる羽目に。
セカニャヘールド……………混んでなければ入るよ。
セキトミーミナクチ…せき止めないと壊れる危険。
セキウチャワケーシ……………川のせき止めは若い人たちの出番。
セクゴタラサキシナ……………急ぐなら先にしてください。
セケチュウニキカンノカ……………締めなさと言うのに聞かない。
セゴチョリャイイ……………からかっていれば満足。
セゴーチャルトニール……………からかっていれば眠る。
セゼタカセンブリュ……………煎じだしたの腹薬。
セズーコニャアブネ……………背戸を来ないと危険です。
セズーチージアルク……………背戸を走って歩く。
ゼゼンデンノマルル……………煎じなくても飲まれる。
セチボジカエーチ……………ひどく叱られて参った。
セチーメニオウチ……………ひどく悲しく辛い目に合う。
セッキュコサン……………年末の節気を越せなくて。
セッキンニゲマワリ……………年末に借金取りから逃げ回る。
セツカリャナケ……………切く悲しければ泣くのもよい。
セツナリャナクガクスリ……………悲しい時は泣くのが妙薬。
セトンスナマキ……………気分転換に、民話に出る肝試しの逸話。
セナコーカシヨ……………背中貸して寒いから、暖房の代役。
セナコアブッチャレ……………背中を暖めてあげなさい。
ゼニャユーツカエヤ……………使う工夫の鍵、銭は有効に使わねば。
ゼニャハタラキャヘール……………銭は働く人について回る。
セネリコバル……………暴れ回ってむずがる子供。



- せ セバムリヤコンワイ……………狭くすれば来られなくなる。
 セベーキカトハナス……………狭いから肩がつかえる。
 セベトコリガイトクル……………狭いのになでか多く集まる。
 セボナツタカタミ……………狭くなった自分の立場、世間での立場。
 セブラルリヤヤッテンイイ……………要求されるならあげる。
 セボウアルキャトクスル……………世間を狭く歩くのも得か。
 セマギッテンシレチョル……………横車押しても知れたもの。
 セマギリヤソンスル……………横車押しても皆には同情されない。
 セメタテテンキカンド……………攻めまくっても無理な話。
 セミンナノカイノチキ……………蟬はこの世に7日の寿命。
 セムリヤヒッコム……………無理すりれば相手が用心する。
 セメスグリヤソンスル……………何でもほどほどに、物事は程度物。
 セモワタルンモニンゲン……………狭く上手に世渡りもよい。
 セラルリヤセリモドセ……………押されたら押し戻せ。
 セルトキャフンバレ……………押すなら踏みしめて。
 セレセレガイイゴタル……………平均が無難、ほどほどにするがよい。
 セリュツンジキタ……………芹を摘む季節を満喫。
 セロウドチカマエチ……………押す予定で構える、対抗意識。
 セングレナラコニャヨカッタ……………しないのなら来なくても。
 センデンホカンシガスル……………しなければ他の人がする。
 センナスルヨリワリー……………しない事はするより悪い事。
 センショハリヤソンスル……………欲張り意地張りは損をする。
 センチンソダチャトオシメン……………悪い習慣、習慣は恐ろしい。
 センチンニナンテン……………便所脇の難を転ずるとか。
 センズリヤワケートキ……………自慰は若いときの発散。
 センズリヤオボエタカ……………自慰はもう体験したか。
 そ ゴーサカケタ……………迷惑かけて。
 ゴーサカエーチ……………散々騒がせて。
 ソウチャナエヨカロウ……………そうですかよかろう。
 ソイチイコーカ……………そうして行きましょう。
 ソイチカルイク……………そしてから行きます。



そ ソージャネーカチオムウタ……そうではないかと思うていた。
ソエレンゴタラ………添えないようであれば。
ソウデンセントスマン………そうでもしないと申しわけない。
ソカヨソンモンド………そこは他の人の物。
ソガレンゴツナル………削がれぬようになった。
ソギクーダカ………削ぎこんでしまって。
ソキーオイチヨケ………そこに置いてください。
ソキアルド………そこにありますから。
ソクーカタミ………底を固める、その場所を固める、防備万全。
ソクーハミ………底をはめる、その場所を仕上げる。
ソクツカウキベンリ………その場所を利用、そこを使うので便利。
ソゲーデンイヤコス………そんなように言えばこそ。
ソゲーニヤイウナ………そんなふうには言わない事。
ソゲンコタアルド………そんな事もありますから。
ソゲンコタワカッチョル………そのような事は解っている。
ソコンシタガヤキタツ………その下が役に立つ、下が肝心。
ソコンジョジャネー………そこばかりではない。
ソゴーチャデケメー………添っても出来ないだろう。
ソゼタヌユウキルノ………傷んでいるのを着用する。
ゾゼチムゲネコサレ………傷んで可哀相で。
ソゼグチアレチ………袖口がひどく痛ましい。
ソズルキキオツキ………そぜる《傷むから》から気をつけて。
ソシチカルクウ………それから食べます。
ソダッタゴタルキ………育っているようですから。
ソダッチクリー………育ってほしい願望。
ソチホタリャコマル………外に捨てる则迷惑。
ソツパリャキルル………引っ張ると切れる危険。
ソデグチャアレチョル………袖口が傷んで痛ましい。
ソトコマンワライガオ………春種付け駒の笑顔表情。
ソトンマゴホズムゲネ………外孫ほどいじらしく可愛い。
ソトカルヘエータカ………外からよく入れたよう。

そ ソネクッテンワカッチョル……意地張っても気持ちは解る。
 ソバジャキクリー……蕎麦だから《側でも》黒い。
 ソバコニー……蕎麦をこねて《練り合わせて》。
 ソビク……引っ張る、引いて使う所作。
 ソビーチョケ……引っ張っておく、引張りなさい。
 ソビカニャバルルド……引っぱっておかないと嘘が解る。
 ソベオキャジャメナル…側に置くと邪魔になる。邪魔物扱い。
 ソポーウツカ……蕎麦をこねる、蕎麦料理を作りましょう。
 ソマランゴツミヨヤ……交わらないよう、染まらないよう。
 ソマラニャイイケンド……友達付き合いに気くばりを。
 ソメチョキヤドゲデンナル……染めて保存すれば役に立つ。
 ソヤノイイグレーカ……そうですねよいですよ。
 ソライロ……青い空のような色…現在のぶるー。
 ソリュサスルナ……それはせないように。
 ソリュセンカ……それをしてあげば。
 ソリャセンゴツ……それはしないように。
 ソリャヒズネー…無理かもしれないよ、それは苦労しますよ。
 ソンチョコットガノヤ……その少しの事が心配。
 ソンナルソート……それならばそのように。
 ソンゲサネセレ……そちらの方に押して。
 ソンクギュフンジ……古釘を踏みつけてしまった。
 ソンゲセニャ……そのようにせねば。そちらにしないと。

★ 『あ』から『そ』までが入りました。方言の使い方は組合せ
 によって意味がかなり異なるでしょう。ソン…でも『その』
 『それなら』『そちら』『固有名詞に』『そちらに』のよう
 に いろんな方言に拡がります。その経過の中で人の情愛が
 加わり 相手に届いた時には優しい思いあう気持ちに 転換
 もされています。だから人は興奮していても
 届いた時には 柔らかな気持ちに変化してい
 るのです。方言とはそんな心が浄化されて。



五助街道
ものかばり



m

物うで一じにする優しさ

じっと見ちよると撫でたり時にゃ真剣 握りしむるような姿が何か色気を誘いで一ちしまう。こんめ一時かる物をで一じにするなあゆう 見たり聞いたりもしちよつたが やんがち年頃いなりゃなおさら それもゆう解る。ひよいとすりゃ相手んこつ一思いで一たか。使うたらちゃんと美しう拭いち 洗うち使わにゃほかん何よりもで一じな道具。

若えうちゃーはりこめるるき 無理でんねーんか2編も3編もするしもあるが そげーせんでんおおかた人並みんこつ一 それが一番いいもんじゃち聞いたり 自分も自分にい聞かせちしよるんじやろう。今日もそげな格好が畦ごしんここかる ゆう見ゆるのん何か若うなつたごたる気色になる。

★ ちよると…いと。しむるような…しめるような。で一ちしまう…その気にさせられる。こんめー…小さい。で一じに…大事に。するなあゆう…するのはよく。しちよつたが…していたが。やんがち…やがて。ひよいとすりゃ…もしかしたら。ほかん…ほかの。で一じ…大事。はりこめるる…頑張れるが。ねーんか…ないのか。そげーせんでん…そんなにしなくても。こつ一…事を。しよるんじやろう…しているのだろう。そげな…そんな。ここから…この場から。気しょく…気分。

あら…さかさめーもっち隠したど はげらしいが見えんごつなつた。まさかありゅう入るりゃしめー と 手を合わせちそん鍬に頭すりつけ ち一た土くれを落としよるじゃねーな。今朝かるん中打ちに汚れた鍬がむげのうなつたんか。優しい気だてんいい娘じゃきのや。陽にピカッ光ったんがそん横顔う照らしちよる。初々しい娘盛りん道具うで一じにするなあ やんがち家持ちんいい嫁ごになるじやろう。



五助さんな話がうまいもんじゃき つり込まれちしまうのがまたいいんじゃろう。たばこ一服ふかすところだ あんげこんげん話に変えるち言う。何でん面白いもんじゃき人数も多うなった。肩をはずさんごつしよや 針灸いさんに行くってん錢ゃ出さんど…皆がそれが可笑しいち 又どっと笑うた。★ 針灸いさん…ハリイサン。

高崎山まじ続いちよるヌキ

諏訪神社ん右手ん池ん横にヌキが口う開けちよる。子供なら入るぐれ一ん冷んやりするヌキ。昔にニワトリう放したところ 明かりがね一もんじゃき走りで一た。やんがちしちトキン声うあぐる…ふた時ほずした頃そんニワトリゃ 高崎山ん上に出ちよつた。地層ん関係か断層があるんか 通じちよつたんかん知れん。試した人も人ならトキンコエう聞いたしも それなりん自信もあつたんじゃろう。時折地下水が岩お潜ちちポトリ…落つる水音ん何と優雅な事か…伝承しちくれた真実めいた内容も なんか夢う見せちくるるごたつて憎めない。

そげな事があつちかるはニワトリん世界じゃ 誰が行つたんかとか勝手に行くこた一ならんとか 干支ん順番ぬ一番の『子』と変えち貰いて一なえ そげな意見もあつたそう。ほんな『子』はどき行くんかち問題にもなつた。だいたいお釈迦様の亡くなつた時に牛が一番先に駆けつけたち言う。がそん頭えチヨント『子』が乗ちよつち お釈迦様の前に来たらチョコント飛び降り 一番になつち言うこつかる干支ん順番が決まつた。『猫』や どうやら朝寝しちよつたか 犬から泳ぐな一習つたに木登りう教えんじゃつたき入れちもらえんじゃつたとか。

もっと聞きて一の一こいさこき一泊まるで。早う誰かダンゴ汁う炊くかんかの一よぼるるに。『ほんなお前が炊きゃいいんじゃね一か』『うんにゃ俺は食う方が似合うき』 話ゃおおごちなつた。

健康づくりん大切さ

人間の特に現在ん幸せは『健康』にありゃしまいか。どげ一銭があってん肩書きやら名誉があってん 死んだ時ゃ何も持ち行く訳にもいかん。閻魔大王はそげな未練がましいのは 別世界にふりわけにゃ平等ん世界ん邪魔をするち言う。ほんな今ん4つん重奏病気は何じゃろうか。

高血圧、肥満、糖尿、高脂血症ん4つち言う。その原因は何か…食品が大きい役割をしちよる。高齢化率…大分県は9位であるき気をつけにゃ。高齢化率が高うでん健康じ元気なら 心配はいらんのじゃが…常日ごろかるん健康えの心構えがでーじじゃな。

腹八分が死語になりよる…昔しゃ腹八分でん働く、動くきよかったが 今は動かないから…腹五分でんいいくれーになっちよる。それもそんはず 『何がたべてー』『なんでんいい』これじゃもんな…もう食物に食い飽いた訳でんあるめーに…『ご馳走』ち言や何かえち答えが帰るなんか ナンセンスでんある。

と まあ今更仕方ない状態のしが多い世の中じゃき 最低守る事あ 現在の健康状態の位置かる下がらない工夫。

寝たきりの状態にならない。

外を歩き 若さの回想に心がけ 豊かな心を持ち続ける。

要介護になる前の健康管理。

ピンピン、コロリの生涯になるよう努力する。

★ 健康は自分で作り出すものであり 医師、薬の前に自信の持てる年相応の健康な心身。

これは難しい相談ではねーと思う 自分がそん感じありゃ毎日ん心がけ 気の持ちようで明るく健康な 老人じあっち貰いたいち話をしちくれた。ほんな今かる頑張りな一え人並みにな。

『河舟の船頭さん』

小舟に荷物う運ぶ船頭ん指す竿ん先 野花が流れちよつたんか1
輪ついちよつた。陽やけした顔ん笑みゃ周りん緑い なかなかゆう
溶けくーじ絵にでんなるごたる。『舟がへーるど』方言も含めち大
声が聞こゆると 待ちよつた荷物取りに来るし 送る荷物持ちく
うだし なんかが川辺りん小屋を賑やこうもする。

格好ん舟つなぎ場ん木杭に板を並べここを 河舟《コブネ》ち言
うようになっち久しい。まとまった地域かる水ん便ぬ使うち 外と
ん交流をする大けな役割も果たしちよつた。四季ん移り変わりん中
じ咲く花が 今年も忘れんじ咲いちよるぬ見ると 何か古い物語う
話しちくるるごたる。集まりやすい場所でんある。

『まあ一服せんな』 顔なじみん ばあさんが船頭に声うかけた
ら 待ちよつたごつ『そうじゃな一ひとよこいするか』 手鼻う
上手にこーじひょいと飛び上がった。辛抱しちよつたんか草むれえ
つーじ じょごじょご…なんと走り回っち飛び出すな一若えきか。
そん音う聞くか聞かんか みんな知らぬふりとは優しい心くばり。

『えーとイブしぼったら すーとしち腹がへった』 そこにおっ
たしが皆 どっと笑うたが……そりゃおかしいのもあったが そん
くれ一皆が『ひずかったんじゃろう』ち 慰むる思いあう気持ちも
あったからかん知れん。『そうじゃろ一ち思うち ほら火焼きがあ
るで…食べな一』

優しい思い合う気持ちがこげなこんめ一 舟つき場でん暖もりん
ある話が すぐ笑い顔が 差し出す火焼きが 人ん心まじほのぼの
とさせてんくるる。ただじゃなかるうが そげな心くばりが人の情
ん輪になっち拡がる。じゃき病気でんす
りゃ加勢するし銭ん工面も皆じしあう。



『神楽う楽しゆうだ白蛇』

祭り太鼓が夜更けん森に響く コエマツん灯りに写し出された
岩戸神楽え里の人たちん心は躍り 気持ちゃ常日ごろん苦勞も忘れ
ち 無我ん胸中にあった。篝火が中天ぬ赤う染めちまさに 人間と
神が一体となっち神楽を愛でるごたる。歓喜が上がり舞う人と見る
人が結ばるるな一 そき一悦びがこみ上げちくるからじゃろう。

そんどよめき一全員の心が一致した時 諏訪本殿じゃこの神楽を
眺める白蛇ん姿が 夜火にうつしだされちよつた。神職はそん姿を
見た瞬間目を疑うたち言う。拝殿の柱に巻きちいたぬじっと 見つ
むるそん瞬間まさに 神の化身じあったんじゃろうか。神職は我を
忘れち自宅に駆け戻ると 自宅ん神棚にひれ伏しち 無事息災を念
じたち言う。

それはきっと郷土ん村人たちん 喜びに満ち溢れちよる場面に
心う満たした祭り神ん 喜びん姿でんあったんじゃろう。ほんのい
っ時ん出来事じゃつたが 神職ん目に写る誰にも解らんじ。高貴な
写し絵が垣間見らるる刹那。不思議でもあり自然でもあり 人と神
の絆が時として自然界に現象したのかん知れん。

そんくれ一里人も信心し神も又 添われる願いを叶えさせる決ま
りの 受け渡しにそれぞれが本分ん發揮したんじゃろう。『そげな
事が……』と言えは理屈も成り立つが この世にゃ計り知れん事
だつてあるもん。じゃき生きてもおれるるし 生きち行かるる摂理
もあるのじゃろう。

五助さんにゃ解ちよつた今まじ話さんじゃつた。『まあ聞けの
こんだ続きじゃき』 本腰話す五助さんな やっぱ俺どうが親父
じゃのやち おだつるもんじゃき五助さんも とうとう取っておき
ん話うするこち一なつた。『ふんともう お前どうわしよね一』

長崎ん諏訪神社に分霊を運ぶ途中 長旅ん疲れじ休息ん機会を求め 立ち寄った一行が長い間世話になった。お礼ち言うちそん分霊をここにもおいち 長崎い出発したち言う。大山祇命こと山の神じあり土地を大切にす 人たちの守り神でもあったんじ こん土地ん人たちも大変土地をでーじにしよった。《当時かる農耕技術が進んじょつた》そげな事もあっち心打たれち 分霊を奉ったとん説が残っちょるち言われちよる。

鳥が運ぶ途中じあんまり美しい場所に 見とれちちょうと一声ないたもんじゃき 分霊がこぼれ落てた。じゃもんじゃきそく一安住ん地にされたち言う。南面に向いちよるし北に山を受けちよるき そりゃ内懐ん暖け一もんじゃき 恵まれた絶対的ん場所でんあったごたる。東かる上がる陽を受けち住み心地ゃ 天国んごたったんじゃろう。

のちにゃ諏訪郷ん中心地になり 行政ん中心地としち栄えたし 人ん集まりやら偉え 武士社会やら 土地を生かした生活ん基盤なんかも 早うかる発展しち今も当時の人間性が 継続もされちよるごたるな一ここが そげな由緒ある土地柄でんあったからか 古い歴史やら文化財が残っちょるんが 頷けるごたるな。

奥の院に行く途中にゃ諏訪ん森かる 湧き出る水が夏は冷とうじ冬はぬき一。石板ん上う流るるもんじゃき 口にふくみゃ大自然の味が喉う歌うち通るごたる。知滝ん水ち言いよったが大杉ん下をくぐり抜けち出ただけにエネルギーやら 栄養もへーちよるかん知れんじゃろう。そこじ諏訪にまつわる唄を一つ……。

★ 『訪の恋唄』 ★

諏訪の出水のせせらぎは	そんな貴方にいつからか
渡る瀬もある淵もある	つのる思いが切なくて
苦勞承知の私です	心燃やした私です
流す涙もいつしか尽きて	寒くないかと抱かれた肩に
肌に侘しく夢も消えそな七瀬川	花も咲きたい欲が未練の七瀬川

『区長ん心意気』

こん地区に戦時中に疎開したしが沖繩かる来ちよつた。戦争が激しゅなっち大けなこつ沖繩かる来た。区長は地区内を回っち男手ん少のうなつた家ん 小屋でん納屋でんいいき受入れに頭っさげた。10所帯あまりがなんとか決まっち 供出が厳しい時じゃつたが百姓家にゃまあ食い物は 他に比ぶりゃなんとか出来もした。

時ん区長Gさんな世話しながら 子供や女ごしゃ働いた事もねーしばかりじゃが 何とか教えたり皆じおしえたりしち 何とか他国ん『いのちき』い溶けくうじいった。泣きて一事ん多かつたじゃろうが 戦争ち言う巡り合わせに苦勞したな 百姓も沖繩んしも口じゃ説明出来けんくれーひずかつたち言う。

そげな中でん子供はすぐなれち《慣れねば暮らせない》 ゆう遊び喧嘩もしたが…それが又いい思い出にもなつたごたる。子供ん遊びん中でん『ままごとあそび』は 幼い子には忘れられんち異国でん 一時でんあつたか知れんじゃろう。父親を思いでーち今頃あどげーしちよるか 達者じおるか母親以上に思うたかん知れん。

ままごとあそび……夕立雲がによきによきち西ん空に沸き上がると 待ち遠しかつた雨が降りでーた。畑がいろいち枯れかかる前じゃき 皆もう待ちこがれちよる。子供たちが無心に遊ぶゴザん上じゃ 紫蘇に巻いたカンナン花がさしずめ…巻寿司ちゅうんか……。『はい食べなー』『………』 何か解らんけんど場面じ お客さんじゃろうき……『はい いただきます』 器用に摘むと口に入るる真似うする。『うめーな』『はい』 ぎこちねーままごと遊びが進じよつたら ピカリ ゴロゴロ だましに雷が鳴り出えた。

ゴザう引きずりながら壁なしにへーると 待つたごつザーサーと降りでーた。折角んご馳走がゴザん中じむげねこされ…。

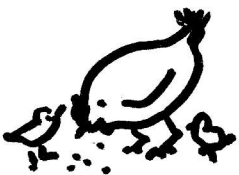
『松根油がお国の為に』

繁美城跡にゃ古松が風に鳴り 人ん訪れにゃマツタケう土産に与ちくれ 心も和ませちくれた。が戦国ん武士たちん苦労は想像以上でんあったじゃろう。多くん人ん血が流され争いが続く そげな世はいまでんやっばどっかじ続いちよる。幾百年もん歴史う秘めちよん城跡 そこにはまるで何もなかったごたる 風と草花が残っちよるんが一層侘しゅうもある。

そん松かる油を取りよった時代もあった。戦争が激しゅうなりガソリンが血の一滴と同じち 学校ん生徒は毎日こん油う集めち回るんが 勉強ん一つでんあった。航空燃料ん補助的役割ん松根油 そん松に斜めに切り傷つけち したたるあぶら《松油》を集めち竹内ん工場じ 精製しちよつた。男したちは戦争に出るき残った 女ご年寄り子供がそげな仕事は受け持ちじゃつた。

供出も厳しゅうなり食うものも制限さるる そげな空腹も辛抱しち食われるもんは何でも 構い無く食うこち一なつた時代。それでん干しんだしはおらんじゃつたき 人間の限界はまだまだ残っちよたんじゃろう。甘ゆる事あ絶対に許されん事でんある。恥じらいん頃ん乙女たちも顔に イドラん傷つけち山かる山を走っちゃ 集めちくる姿は今じゃとてん想像も出来め一。

そんくれ一苦勞しち集めた松油じゃつたが あんまり使われんまんまじ終戦…つまりゃ負けたんじゃもうムゲネコサレ。日本が負くるなんか考えてん見らん事じゃつた。青春ぬ犠牲にしち頑張ったしを見ると まこちゆうやったもんじゃち感心させらるる。じゃがそれも又人生勉強でんあったんじゃろう。簡素ん式服じ祝言しち嫁ごに歩く…そん姿はやっばいいもんじ隣近所んしまじが 見送り心かる祝福したな言うまでんね一事。ああ懐かしい思いでじゃろうなえ。



『炭焼きの戦争支援』

学校ん生徒が勤勞奉仕するのん当たり前になった。なんさま男が兵隊じ戦地に行くき 残ったな一女ごしと年寄りと子供。じゃもんじゃき働けるる生徒は皆奉仕になる。炭う焼くのん戦争ん支援じゃき 学校に集まりゃそんまま山に行く。くわしい百姓んおいさんがもう 泊まりがけじ待ちよる。顔んあっちこっち炭うつけち。

『今日もお前どうか』 ほかにゃそげ一しきるしもおらん。じゃき同じ生徒がめ一にち来るこち一なる。『やんな昨日はけっく上手に口うとでたのや』『うん』 ぶっきらぼうに返事ゅしたのん あんまり調子い乗っち返事ゅすると 今日も真剣使われちはりこまにゃならん。国の為じゃあるけんども子供にゃ まあそりゃ無理な考えじゃつた。

偉れしん家じ使うのもあったじゃろ一 木炭バスに使うのんあった。石油も入っちこんごつなつたき そりゃもう大事じゃつた時代じゃが そん点田舎じゃ薪物にゃ不自由せんき 疎開しち来たしも遠慮ね一貰ったり拾ったりしち使う。ひんが一日使うてんの一なる事ゃね一き 食い物んの足らんぶんな薪物じこらえなな一。

女ん生徒は子供ん多い家ん加勢やら 子供ん出番な多うなっち日ましに 戦争も激しゅうなっちしもつた。供出も厳しゅうなっち米なんかはもう 全部で一てん足らん家じゃ買うちまじ出えた。それでん足らん時はトイモが代用されち そんトイモもね一しわ買うち出すこち一なる。山う越えち買い出しに行くなにか哀れでんあった。

木炭を親戚運びよつたら検査員に見つかり 取り上げられたりする事もあっち 百姓ん生活も厳しゅうなっち行く。それでん皆じ助けおうち来たき 不思議に死にもせんじゃつたな 日ごろかる鍛えちよつたからかし知れん。



『焼き米ついた精米所』

秋ん季節が早変わりするごつ朝夕は 肌寒うなっち稲が熟れはじむる。そん頃いなると溝刈りしち排水をゆうせんと 乾かんじ稲刈りん時期なると苦を見るこちなる。せんばじコギ落としち大釜じ煎ると 水車小屋じ米つきうするんが『焼き米』づくり。独特ん香りがゆさゆさ揺るる水車小屋ん中 仄かな秋ん香りも懐かしい。

娘ざかりん気持ちう水車んきしむ音に 乗するような時間の経過に悩み 喜びう隠しち自問自答するのも そろそろ嫁ご話が近うなったんか。近所ん娘ん家に『牛見』が来たち聞くと 胸騒ぎするなあ年頃 来るか不安と喜び 来ないか ふと安堵と心配が交差しち心ん ちぢに乱るるから娘心あ複雑でんある。

水車ん回るたんびに動く機械にまとわりち一た 蜘蛛んエバが白い粉じ浮き彫りされたごたる 巣を艶かしく動かしち娘心もくすぐる。『もう歩いたらどげーな』ち 言わるるごたる動きにひょいと我に帰る。早く歩いた近所ん同級生が子供おんぶしち 祭りに帰ったぬ見ると羨ましいような 負けたような悔しさもある。

けんど『ひじいんで』ち 話う聞くにつけてん慌つる事あねーち言い聞かせち 何か落ち着いたごたる錯覚もする。仲良しんおぼんが小米をすりに来た。手を貸しち機械にかくると腰うおろす。話や途切れたが言いてえごたる表情に 声かけたら嫁ごん悪口が始まっち 何か決まりが悪うなっち困った。そり気がち一たごつ話かけち来る。『ゆう考えち嫁ごに行きな一え』 そん一言は心にぐしり。

ゴトゴト機械がうごくたんび揺るる 蜘蛛ん巣はそげな話うもう何べんも聞いたんじゃろう。それもいいんかも知れんち思うと 心が落ち着いち覚悟決めちよくか-tonん思うた。こんまま家に居る訳にも行くめー 水車んごつ動くか人生。



『野津原 8 景』 昭和 2 8 年頃の記録かる

野津原村ん頃じゃつた。『野津原村報』ん発行かる 1 年すぎた頃に 野津原村ん 8 景ん募集があつた。1 5 日間あっちそん結果がまとまっち 次ん月に結果か発表された。

3 8 5 3 票ん投票ん結果	1 位…愛宕墓地公園	1 0 9 2 票。
	2 位…竹の内鈴ヶ滝	7 5 5 票
	3 位…原村神社	7 3 7 票
	4 位…辻田堤	4 3 4 票
	5 位…塚野冷泉	2 8 9 票
	6 位…宇曾岳神社	2 4 2 票
	7 位…秋葉山	1 6 6 票
	8 位…貝殻岳	4 8 票

3 月 2 3 日に抽選しち 全投票者の中かる 3 0 人に記念品。
8 ヶ所に賞金と苗木ぬ贈呈した。

野津原村ん頃じ 今市地区は合併前じ入っちょらん。初版発行は昭和 2 7 年 5 年月で こん企画は昭和 2 8 年 3 月に取り組み 4 月新年度から実施したもん。

この後…野津原町報、野津原町町政だより、なんか変換を経ち現在は『広報…ななせ』ちなच्चよる。

五助さんの話しやらこん頃かる後ん 話もちーとはいったけんども 野津原ん歴史ん中をちよいと覗くんも 話ん種になるんじゃねー。ほんなここかるは又 方言の単語に変ゆるかな。五助さん茶でんどげーな うち来ち遠慮しなんなえ……。



『野津原 8 景』 昭和 2 8 年頃の記録かる

野津原村ん頃じゃつた。『野津原村報』ん発行かる 1 年すげた頃に 野津原村ん 8 景ん募集があつた。1 5 日間あっちそん結果がまとまっち 次ん月に結果か発表された。

3 8 5 3 票ん投票ん結果	1 位…愛宕墓地公園	1 0 9 2 票。
	2 位…竹の内鈴ヶ滝	7 5 5 票
	3 位…原村神社	7 3 7 票
	4 位…辻田堤	4 3 4 票
	5 位…塚野冷泉	2 8 9 票
	6 位…宇曾岳神社	2 4 2 票
	7 位…秋葉山	1 6 6 票
	8 位…貝殻岳	4 8 票

3 月 2 3 日に抽選しち 全投票者の中かる 3 0 人に記念品。
8 ヶ所に賞金と苗木ぬ贈呈した。

野津原村ん頃じ 今市地区は合併前じ入っちょらん。初版発行は昭和 2 7 年 5 年月で こん企画は昭和 2 8 年 3 月に取り組み 4 月新年度から実施したもん。

この後…野津原町報、野津原町町政だより、なんか変換を経ち現在は『広報…ななせ』ちなっちょる。

五助さんの話しやらこん頃かる後ん 話もちーとはいったけど野津原ん歴史ん中をちよいと覗くんも 話ん種になるんじゃねー。ほんなここかるは又 方言の単語に変ゆるかな。五助さん茶でんどげーな うち来ち遠慮しなんなえ……。



力高翠韻



た タアラシャムゲネー……………触らせないと可哀相。
タイゲーニャセント……………いい加減にしなさい。
タイラゲタ……………食べてしまった、残さず処分した。
タイチョキヤキタツ……………炊いておけば間に合う。
ダイコガレー……………大根辛くて、無性に辛い。
タエネーゴツルヘンジュ…張り合いのない返事。活気がない。
タエタシンヤシキアト……………消滅した人たちの屋敷。
タエネーナズーシン……………張り合いのないのは根性がない。
タオマヤーミモナル……………田回りの熱心な田は豊作。
タオシチョカント……………倒しておかないと危険。
タカアガリャコケヤシイ……………調子に乗るとひどい目にあう。
タカガシレチョル……………大した事はない、中身はお粗末。
タカラルリャコマラ……………無心を言われると迷惑。
タキツキスギンオチバ……………燃やしつけに杉の葉っぱ。
タキモンニモナラン……………薪にも不満な。
タキモンキリ……………薪とり、薪を集めて燃料に。
タグナッチヨヤモトグル……………むつぶっていることから見合う。
タグーユルージ……………肥桶の輪が緩くなって。
タケザオンフシヌキ……………竹ざおの節を抜き取る。
タケナオツクル……………束ねる竹の縄。
タケッチョルキカテ……………成熟期が過ぎて固くなる。
タケンカワンジョリ……………竹の皮で作った草履。
タゴンワユーセニャ……………肥桶の輪の修理。
タコードチワレキュ……………燃やすのに割木を。
タコートマリャアシモツク……………自慢しすぎて失敗する。
タダジャナカロ…ただより高い物、旨いはなしにゃ畏がある。
タタンナヨロケンショウコ……………勃起しないは弱った証拠。
タチツクヌリャヒジ……………立ちっぱなしは苦痛。
タチガリュ……………たまま枯れている。
タチバナシモナントヤラ……………まあ寄って話したら。
タチマランアツシマツ……………勃起した息子何とかして。

た タツリャユーナル……………牛馬の入湯、湯で暖めると治る。
タッタキシヨワネー……………勃起したから大丈夫。
タツナゲンキンシヨウコ……………牛が直ぐ立ち上がれば無事安産。
タッテンカゴーデン……………たってもしゃがみ込んでも。
ダツカインコゴーメシ……………牛馬使いは腹もすく。
タデクウテンスキズキ……………変な草でも好き好き。
ダテサミー……………伊達者でも寒さには。寒くないふりも大変。
タドッテンユーワカル……………辿って行けば安心。
タドッチイキャワカル……………尋ねながら行けば解る。
タナンスマンミヤゲ……………棚に始末した土産物。
タニンキラシイ……………間伐は他人が上手に切る、自分の欲走り。
タヌキボーズンヒルネ…夜遊びの昼寝、夜になるとごそごそ。
タネモミマジクーナ……………種まで失うのは最低。
タネアブロシンボシヨ……………灯は大切な生活用具。
タネモンナダイジツカエ……………種まで失うとは計画性がない。
タノマレナカダチ……………依頼される当日限りの媒酌。
タノモシイカンカ……………積み立てて使う、簡易融通組合の会合。
タノンジョランニイク……………頼まないのに出しゃばる。
タヘラカヘニンナラン……………自慢話しは役立たず。
タバカーシゴトンウチ……………たばこ休憩は仕事のうち。
タビドモヌゲ…足袋くらはいは抜いたら、行儀知らずも程々に。
タビンハジジャ……………知らぬ他国ではやりっぱなし。
タブシンナハルサキ……………田の補修は春の余暇に。
タブヒロゲチヒトカセギ……………籠を広げて小魚取りを。
タベルリャシヨワネー……………食欲があれば大丈夫。
タボーチコミュウノコス……………節約して米を残す利口派。
タマニャカラドー……………時には体の事も考えて。
タマガッチトマッタ……………吃驚して止まったしゃつくり。
タミナランヤクタタズ……………役たたずは爪弾き。
タミナルコロニャヨメゴニ……………働きだしたら嫁に行く年に。
タムリャネラワルル……………泥棒に気をつけないと。

- た タメテンシヌトキャイッショ……欲張つても死ね木阿弥。
 タメチャラントシコデケン……蓄えなければ準備出来ぬ。
 タモチハリトイトグレ……袂に糸針くらいは常識。
 ダラシガネーヤチャ……非常識な、品の悪い性格。
 ダリュジオケチョレン……疲労して起きてられない。
 ダリー……疲れがひどい、体調がすぐれない。
 ダリンカリンユウナ……誰かれに言うものではない。
 ダルタガアラエヤ……肥桶は洗っておくように。
 タレンカレンユウナモンジャンー……誰かれ言うでない。
 タンネタンナ……尋ねたのですか、見舞いに行きました。
 タントネーケンド……少ししかないけれど、少なくて悪いが。
 タンシリヤヒエオイイ……井路尻は稗が、稗の種が流れこむ。
- ち チータラケーチ……散らかしたままにして。
 チーチキテンシランド……ついて来ても知らないよ。
 チイトーンモネー……少しもなくて。
 チイツラケーテムゲネ……ひどく叩いても可哀相。
 チエネタデータカ……成長過程の熱が出た。
 チカヨリヤイケンド……近寄ればよいのだが抵抗もあって。
 チカクリヤケゴスル……投げかけると怪我をさせる。
 チカゴラサカシイカ……健康は大丈夫、この頃は元気ですか。
 チギリソコナヤトリンエサ……もぎ取らないと取りの餌になる。
 チキリジハカラニヤ……秤で計算して、計って見らないと。
 チクショウデンイキモン……動物は全て同じ生き物である。
 チクケリヤイクケンド……近ければ行くのだけれど。
 チクラカス……叩き回す、ひどく乱暴に叩く。
 チケーノンヨシアシ……近くても都合悪い事も。
 チケータニンヤセエナル……近所の他人に世話になる。
 チコヨッチトラマイ……近づいて捕まえなさい。
 チゴダイミョニダスカ……稚児行列に参加しますか。
 チコミテンチガワン……近くから見ても間違いない。
 チコデンダマクラカス……近くでも騙してしまう。



ち チジムホズヤセタ……………縮んでしまうほど痩せ細る。
チシワッタナワキヤレ……………割れたのはかたづけなさい。
チシマワシャムゲネ……………叩き回すのは可哀相。
チシノベーチイリ……………叩き伸ばして入れなさい。
チジムリャヘール……………ぎゅつと縮めると入るのでは。
チシマワシテナラン……………叩き回しても気が納まらぬ。
チズケータカ……………夜尿症の後、木の葉に線香で絵を書く。
チソウニナリャモドサニャ……………ご馳走のお返しは人情。
チソニナッチゴメンナ……………思わぬご馳走になって恐縮。
ヂタヂタシチ……………湿気が多くて足もとが悪い。
チタクニャテカゲンシヨ……………叩くのには手加減して体罰。
チヂコム……………縮みこんでしまう、寒さにこごえて縮み込む。
チッタヒツカンガイ……………少しは人の事も考えなさい。
チットンワカッチョラン……………少しも理解していない。
チドマフィチョケ……………血を拭いて清潔に、後始末を早く。
チナカスナムゲネー……………いじめて泣かせるのは可哀相。
チナマグセートムスル……………血生臭い雰囲気は気分が悪くなる。
チビット……………ほんの少し、少なくともようです、小小。
チビクシゲンキダス……………小さいわりには元気者。
チビットワリケンド……………少し悪いけれど、少し無理だけど。
チブソースイマクル…激しく乳を吸まわす、乳を真剣に愛撫。
ヂベテオサエツケチ……………地面に押えつけ、乱暴する方策。
チボクレテンイイカ…縮むこんでしまってもよいでしょうか。
チマキュツクッタ……………粽ダンゴをつくった、節句に粽を。
チマキャユウニョル……………粽は男性性器によく似ている。
チモタウエンジョケ……………わけぎは植えないように。
チモタヤルモンジャネー……………わけぎはあげると種失う。
チャーラマア……………まあまあどうしたの、面白い冗談を。
チャランポラン……………いい加減な、落ち着きのない不安定。
チャラコ……………全部元の形に、姿に、状態に戻して。
チャオケンツキアゲ……………お茶受けに天ぶら。

- ち チャチャサスンナくたダシ……………口出しはさせないから。
 チュークレンコツ……………いい加減な事を、中途半端で。
 チュウクレージャ……………いいくらいな事で。中途半端な風来坊。
 チューカンヌ……………冗談の効いた話で。
 チュートハンパムゲネ……………いい加減では気の毒。
 チョル……………している、解っている、知っているなどの決め手。
 チョン……………解らない場合の閉め言葉。
 チョイトコトバハアブネ……………簡単な呼びかけは危険。
 チョロチョコロスナ……………うろうろ落ち着かぬ状態。
 チョーチンモチュ……………恋の中持ち、恋の縁結び。
 チョツトグレーワ……………少しぐらいは、この位は大丈夫。
 チョウトミシヤ……………少し見せなさい、話だけはしなさい。
 チラットミエチヤ……………少し見えたよう、肝心の場所確認した。
 チリデンチッタアルド……………塵の中にも実があるもの。
 チリヤガッタノー……………終わってしまったか、最後になったよう。
 チルゴツフクノー……………残念な終着、散らすには忍びないが。
 チルナラソーチイエ……………最後ははっきりと、最後が肝心。
 チレートントシゴロジャ……………一人前の女性になって。
 チロウドチフィータ……………一人前になる条件が揃った好日。
 チワキサネーチノヤ……………やはり血縁とは入りこめぬ。
 チンバンヨイダチ……………差別用語…早めに出ないと遅れる不安。
 チンコカルデタヤ……………初めての生理が、本当か祝いの赤飯。
 チンチンヌユウフケ……………性器を清潔にしないと大切な所。
- つ ツーノーチアルケ……………連れなって歩きなさい。
 ツーダラダッタ……………走ったら疲れた。
 ツーデンツーデン……………走っても飛んでも。
 ツイナワカッタ……………強いのは認めたから。
 ツイーダケジャツマラン……………強くて優しい人間に。
 ツイタラケセ……………灯もったら消しなさい。
 ツウテンデンユウミチョル……………呑気者でもしっかり見ている。
 ツエタンカ……………潰れましたか、快方に向かっているよう。



つ ツエンカワリンカレモン……………丈夫のようで頼りない。
ツエンカワリナリテー……………役立つならいいが、他の狙いが。
ツカンダラハナスナ……………捕まえたら放さないよう。
ツカッチョリャアラデル……………人目が気にならないと危険。
ツカウ…利用する、加勢してもらおう、バス列車を使って行く。
ツカオーチャ……………使いましょうよ、お互いが利用しあう。
ツカッターヌクモレナ……………入浴したら暖まって。
ツカマエチハナサン…捕まえたら離さない事。折角の宝失う。
ツギンアサンメザマシ……………翌日の朝に楽しみの物。
ツキューモチキタ……………借りていた金を返しに来た。
ツキカクレチウラキズ……………内緒で裏木戸から忍びこみ。
ツクレンコツ……………つまらない事を、大した事もないのに。
ツクロヤユウナル……………修理すれば、補修すれば使える。
ツクレンデンイイド……………作れなくてもよい、加勢せねばよい。
ツグルツクッチ……………とぐるを巻いている。
ツクロヤデケタカ……………繕いは出来ましたか、修理は出来たの。
ツケチクンナー……………あと付けてみて密偵、後払いに。
ツケニシチセッキン……………付けておいて年末に支払い。
ツゲグチャサカクジュ……………告げ口して穴二つ掘る。
ツケニャヘーラン……………付けなければ入らない。
ツコーダラハナスナ……………捕まえたら離さないで。
ツゴミチイクキ……………都合を見て出かける、出番に参加する。
ツコダラナンカモラエ……………捕まえたらご褒美を。
ツザブクラロクモンセン……………渡し賃は死人下げた袋の6文銭。
ツジマッタナナカヨシカ……………辻で待つのはいい人か…恋人。
ツシホタリアギー……………小屋に二階に投げあげなさい。
ツツデンヒトイキ……………唾飲みこめば一息馬力も出る。
ツテンカオヒマアルノー……………調子のいい事言う暇があるもの。
ツトーチキーウージャル……………伝えて来なさいおんぼするから。
ツトロクデンヤキタツ…だらしのない人間でも役に立つことが。
ツドンツマリャ……………結局の所は、なんと言った所で。

つ ッタ……………じゃつた、知った、思った、行ったんじゃない。
ツチ……………知って、やっち…あげて、解っち…解りました。
ツチガオモテ……………土が湿気があって重たい。
ツキモチャナタクウナ…傷みやすい、餅は夏はおいしくない。
ツチヅクリガオモド……………土作りが豊作の条件。
ツチクウチャミズノム…燕の鳴き声…釈迦に諭されたと言う。
ツッカキユートシコデケン……………急に言われても準備が。
ツナガッチョリヤイイ……………連なっていればよいのだが。
ツナギャコス……………つながればこそ、むすばればこそ。
ツネヒゴロンノヤ…日頃の対応が大事、日ごろ往生と言う。
ツネンゴタル……………いつものような、平生と変わらぬ。
ツネギンミズマワリ……………ふだん着での水回り。
ツノーミガカニヤ……………角を磨いて品評会に出す。
ツバンジョヘーチショワネーカ……………異常なようだが大丈夫。
ツビーホシャユウヒル……………庭先に干すとよく乾く。
ツビーヨセチョケ……………庭先に寄せておく。
ツブツカヤカワクド……………庭を使うとよく乾く。
ツベコベヨリヤテヲダセ……………言い訳より加勢が先。
ツボサキヤキオツキー……………庭先は気をつけないと危険。
ツマミヤジワットナルケンド……………つまむと萎れるごたるが。
ツマランキツマル……………煙管、ヤニが付くと通りが悪くなる。
ツマミグイハツミナル……………内緒性交は罪になる。
ツミナランイロバナシ……………共通の色気話は罪にならない。
ツムンカ……………散髪しますか、理容にゆくのですか。
ツムンナラナカニモ……………牛馬に背負わせるなら中荷も。
ツムリヤクロナル……………閉めると暗くなる。
ツメコミヤヘールド……………押し込めばまだ入る。
ツメクーデンイインカ……………押し込んでもよいのですか。
ツモードチマツチョル……………散髪を待つ、積込みを待っている
ツモッタヒアイヨダキー……………たまっている利子払いは大変。
ツモリヤツカイヨウ……………折角の貯蓄もつかいようでは。

つ ツヨガリヤイイスグンナ…横車も程度物、強情もほどほどに。
 ツユーツッパッチ……………強く押しつけて。
 ツヤバナシャニキノヤ……………色気話には誰でも顔がほころぶ。
 ツラナリヤツイー……………連なっていれば頑丈。
 ツラロックウカ……………つららを《氷の柱》食べない。
 ツランカオー……………欲顔を見つめる、嫌われ者の横着な顔。
 ツルットムケタ……………瞬間にうまく剥ける。
 ツリアワンサンニュー……………話にならない計算の結果。
 ツリサゲチホセ……………場所を取らない、下げて乾燥させる。
 ツロミリヤオテツク……………顔おみれば安心する。
 ツローアワシ……………顔を合わせて、にらめっこして。
 ツローアローチデナオセ……………考えを改めて出直しては。
 ツレノーチョリヤイイ……………連れ立っていればよい、同伴なら。
 ツレノーチイケ……………連れ立って行く、同伴して行く。
 ツレメーイクンナ……………連れに行くのですか。
 ツワリヤコウミジャ……………おめでたの兆候。
 ツンダナイイガ……………守りが大変、積み上げたのはよいが。

て テーゲンコツシチョレ……………いい加減な事して。
 テーチ……………炊いて、落ち着いて。
 テアジャタシゴト……………手作りの睦は足し仕事。
 テエゲーニシチョケ……………大概にしなさい。
 テオカリヤモドセ……………加勢には手戻しを。
 テオツクルンカ……………支柱を立てるの、手をかける。
 テガトイカニヤ……………几帳面にしないと。
 デキャワルネーキ……………人間性はあるから。
 テグミンイイナイトキ……………家内組み最高は長くは続かぬ。
 テグミヤクイブチモイル……………勢揃いは家計も大変。
 デケンワリーナオヤユズリ……………出来の悪いのは親に似たか。
 デケリュウデン……………出来ないかも知れないが。
 テゴホムリヤシアガリモイイ……………手伝いを上手に使う棟梁。
 テゴンニュウトウ……………手伝いは気楽な立場。



て テゴンイイワリデケニカカル…手伝いがいいと完成も上出来。
テコボンナエエラシイ……………手盆な可愛らしい仕種。
テザカヌモチキイ……………酒の肴も持ち寄りで。
テシゴタマカシイ……………手仕事の達人、器用な人材。
デシャバリヤソンスル……………見せかけ人じゃ損もする。
デシンホウガノヤ…弟子が上手すぎて、棟梁より上手な技量。
テショモヤキタツ……………手塩皿も使いようで貴重品。
テズクリャアジモイイ……………おふくろの味、素朴さが好評。
テゼマジャコマロ……………狭いので苦勞するのでは。
テゾムリャワスレラレン……………のめり込むとノボセルのでは。
テタタキャホウサク……………少ない水を旨く使う営農法。
テヅカミャアジミ……………盗み食いは試食の特権。
テズカミャコエマキ……………肥やし撒きは手つかみが理想的。
テデンアシデンヤルノー……………手八丁口八丁、万能選手。
テドイシャベンリ……………小さな携帯用砥石、貸すと減りますよ。
テナベデントジブタ……………割れ鍋にも都合よい蓋。
テナズケチャトウ…指導して雇い込み、教えたのが無駄なし。
テニチータケンド……………手にはついた技法だが。
テニツカンキ……………高ぶって想いがさぎまらない。
テヌリーカワリネンシャ……………時間はかかるが入念な性格。
テヌリーナナオラン……………手間時間をかける性格。
テノウチャミスンナ……………考えは内緒にして、秘密が肝心。
テノナカンニギリゼニ……………真剣握った銭の温もり。
テバロキルカ……………振る舞っておく技法。損して得取る。
テバラモモウケモン……………ふるまう事も儲けに繋がる。
テブザゲチマミャウエ……………手籠さげて畦豆を植える。
テブラデンアイテ……………みやげがなくても会いたい。
テベントンカセイレ……………弁当持参の手伝い、思いやり協力。
テボツキャユウグレ……………うなぎとり手籠は夕方仕掛ける。
テボンニャユデモチ……………手盆に懐かしいゆでた餅。
テボコントキニャイイ……………手盆も時にはよいもの。

て テマチンナハリコメ……………世話料も入れてお礼しなさい。
 テマクランソイチネ……………手枕じゃよく寝るでしょう。
 テミヤギャネーケンド……………みやげなくても会えば楽しい。
 テミミスリャワリード……………手の内は見せないように。
 テモターショワネーカ……………資金は企画は世話はないのか。
 デモドリャユウシヨ…離婚したのなら大事にしてあげなさい。
 テラカルサト……………人に世話になる事もある世の仕組み。
 テレデンキイチョル……………鈍い性格でも聞いている事は多い。
 テレテレスンナ……………のろのろしては結果も悪い。
 テロードチシヨル……………天気になるか心配している。
 テローカクモルンカン……………天気になるかそれとも曇るか。
 テワヤカキョウジン……………手で物造りは器用な性格。
 テンデハナシナラン……………箸にも調子にもかからない。

と トーユデンキコユル……………遠くてもよく聞こえます。
 ドーコンユジカウアラエ……………銅壺の湯で洗顔を。
 ドーゼンナカリャウチヌ……………無いなら家のを使う。
 トイーキ……………耳が聞こえにくくて。
 トイーキイカンド……………あまり遠いから行かない。
 トオーロコズミナオセ……………俄を積み替えてください。
 トオニタツ……………芯がでて花が咲きそう。
 ドカントアブネ……………離れないと危険だから。
 ドカンデンホルル……………離れなくても掘れる。
 ドキイッチョツタンカ……………どこに出かけていたのですか。
 ドキタンナ……………出かけていましたか、どこまで行きました。
 ドキマンナ……………どこに放尿しますか、用足しどこで。
 ドキマンノナ……………どこで放尿すればよい。
 トギニャアコーノ……………友達には飽きがくる人も。
 トギャワルユーキ……………友達が悪く言うものだから。
 ドキマギユウナ…荒荒しい言葉でまくし立てるものではない。
 ドキンコキンネーヤツ……………どこにもここにもない人材。
 ドゲシタンナ……………どうしましたか、何か心配事でも。



と トギンヒアイモ……………友達の利息も払いに。
ドクマジマツチャル……………離れるまで待っている。
ドゲナルカチオムウタ……………どうなるかと心配した。
ドゲモネージヨカッタ……………どうもなくてよかった。
ドコデンシアリャセン……………どこにでも有りはしません。
ドダイムテナハナシ……………そんな無理な話、ひどい話で。
ドダイムテナコツ……………あまりにも無理な事を。
ドダイキサネ……………本当に汚い、物凄く汚れている。
トタンヌフムトオツルド…とたん屋根は気をつけないと危険。
トタンブキャセセロシイ……………塗炭屋根は音がうるさい。
トチンシャユウチョケ……………地元の人にはよくしておく事。
トチグレーアリガテーノヤ……………土地には感謝の気持ちで。
トットシモウタ……………大変残念な事を、うっかりして失敗した。
トテムムリナ……………あまりにも無理な。考えられない無理な。
ドドリャユウネル……………揺すりあやせばよく眠る。
トナリンムギメシ……………目移りが、よその家の物がよく見える。
トニカクシチョカニャ……………早く片づけておく事。
トノサマキドリン…自惚れもいいところ、有頂天もこれでは。
トバサニャシエガノコル…選別をよくしないと種にならない。
トビクウダスリコミ……………飛び込んで水に潜る。
ドベデン……………最後に走っても、勝敗はびりでも。
ドベテー……………土の上にそのまま、土に敷物なしに座る。
トベルンナゲンキウチ……………走れるのは元気な証拠。
トボウカクリャ…斗升をかければ、斗升計時に上部を揃える。
トボバカリジャワリーカ……………斗升定規じゃ不満ですか。
トマランゴツナッタ……………止まらなくなった。ブレーキ故障。
トミーチイウテン……………止めなさいと言うのに。停車無視して。
トムリャキゲンガノヤ……………止めると立腹する性格。
トメタカリャ……………止めたいなら、泊めたいようなら。
トモイリャワリード……………ともからの玄関は悪いと言う。
トモダチャイイノヤ……………礼儀は守ってこそ更に強い。

と トヤンエサバコ……鶏小屋の餌箱、身近い動物の餌入れ。
 トユーデンミウチ……親戚こそ頼りになる、近所の他人も。
 トユーカルクルキヤク……遠方からの来客、珍客、突然の客。
 トユチコアルクヤツ……話芸も達者、歩き癖の性格の人。
 ドコデンツキアイ……いずこも同じ好誼の道は大切。
 トランサキンサンニュ……夢が消えねばよいが。
 トリウチガユウニアウ……ハンティング、鳥打帽しが似合う人。
 トルゴタラエオマケ……餌撒きが大漁の鍵じゃない。
 トレタンナラオゴレ……儲かったのなら振る舞いなさい。
 トロータオモワンジャツタ……盗むなんか想いも。
 トリ……石垣積み、取り寄せる、餅つきの手水。
 ドンコンナラン……どうにもならない、あきれ果てて。
 ドンダケ……どれだけ心配、喜んだか、多かったか。
 ドンクレクニナルカ……本当に心配してほっと安心。
 トンデモゴザイマセン……そんな恥ずかしくて。
 トンジョリャコスメニツク……目だちたがりの人気者。
 トンデンネーワルボウジ……想像もつかぬほど悪坊で。
 トントシランジャツタ……本当に知らなくて、全く気付かず。
 トンジミスンナエエラシイノヤ……よく走れた可愛い仕種。
 トンダサイナンモコンモジナ……大難も小難でよかった。
 トンガラシミズノマシー……鶏の元気が悪いのに気付け薬。
 トンナコマルガサゲタナツミナラン……下げて頂くのはお接待。

方言単語の追加編…『あ』から『と』まで並びました。2つの連なる方言には 前にまたは後ろに付く単語で 意味も随分変わります。それが面白い関係かもしれません。方言に親しみを持ちながら使っていると今までになかった 格別な味わいも増してくるとよくいわれます。のも方言には生活の中から滲み出た 暖かさ優しさなどがあるからでしょう。大阪のひとたちが共通すると 時折教えてくださると嬉しさが湧いてきます。方言を使う親しむ人の心が 結ばれているなんて 素晴らしいと思います。



今回の方言単語集では2つ以上の単語が多く使われてその組合せによる意味内容が予想外の答えとなって帰っています。それらを典型的に少し並べましたが方言単語の妙味かも知れません。

アク…開く、空く、飽く、明く、悪、灰汁、握…一般に使われる言葉ですが方言を続けてみました。

アクル《入っている物をあける》、アクマジ《どこまでも》、
アクセク《苦労も構わず》、アクタレ《悪口》など。

イク…行く、逝く、幾、育…一般に使われる言葉ですが方言が続けてみました。

イクカモ《行く予定で》、イクナラ《行くようなら》、イクル《埋める、生きてゆく》、イク《精液を送りこむ》、イクタンビ《行く度に》、イクトキャ《行く時には》、イクタミ《行く為に》など。

カナ…かな、かなどり、仮名、金…一般に使う言葉ですが方言を続けてみました。

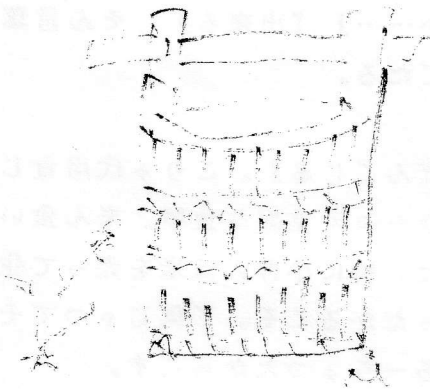
カナ《でしょうか》、カナグル《集めて寄せる》、カナジャク《大工道具の計り尺》、カナガシラ《魚》、カナクギ《釘》、カナツチ《大工道具の槌》、カナモジ《平仮名、片仮名など》、カナミュウ《要の役、まとめ役》、カナメウチ《祝言の日取り決め》、カナワン《参った、降参》、カナツル《収入源》、カナン《火の難儀が》など。

タカ…たかい、高ぶる、高さ、たかを…一般の言葉ですが方言に結びつくと……。

タカイ《高い》、タカラレチ《無謀な要求を》、タカヤネ《屋根の高い家》、タカナ《野菜の高菜》、タカブル《偉ぶりする、興奮する》、タカイタカイ《子供を差し上げてあやす状況》、タカビシャ《威圧的な発言》、タカガ《それくらいの、大した事はない》、タカニャ《炊かないと》など。

猶如

也



『忘れたお弁当』

花子ん家は百姓じゃき学校かる帰ったら 子守うしたり風呂わかしゅしたりん手伝いをする そりゃいい子じゃつた。百姓は年中せわしいき勉強する時間な ねーけんど やうちがみんなじ生活しよるき 加勢するそげな優しい心くばりゃ 花子にもゆう解ちよつた。それが家族でんあるこつー自然の 生活ん中じ勉強も出来ちよつたんじゃろう。

ちっと寒いけんど風がねーと 外でん運動すりゃもう温もる。春もそこまじ来ちよるし 子供ゃ風ん子ち言うごつ苦にもならんし それが又子供にゃゆう似合うもんじゃつた。

ひるまじん授業が済むと楽しい弁当ん時間。『きおつけ 礼』ち級長ん号令じ弁当ん時間になった。と 花子はそっとたちあがるとコソッと 外に出ちいきました。そりゅじっと見ちよつた先生は…解ちよつたんです。迷った先生もやっばここじ 言うんがいいち思うたんじゃろう聞きました。

『花子 また弁当忘れたんか』『はい』 花子はちっと恥ずかしいけんど 返事するとぺこんと頭うさげました。『そうか 忘れたんか 放課後まじ 辛抱出来るか……』『出来る』 そんな言葉にゃちっと淋しい言葉じりもあつたごたる。

百姓ん夕飯は大体決まっち『だんごじる』。こりゃ代用食じゃけんど栄養もあっち おかしいこたーねえ立派な食事。米ん食い伸ばしん為にゃ無理もねえ事じゃつた。特に小作人は米を売って生活にあつる 理に叶った知恵でんあつたかこそ。子供じゃつてそげな想いや気持ちは育つ中じ 身にちーちよつたからこす。

昨日ん飯が残りゃ朝に回しち食うから 弁当が出来んこちなる。

それもちろんと解ちよるき苦にも気にも ならんち言う可哀相じゃが 純真な子供でん素朴に育ちゃ素直ん 心豊かにもなるんじやろう。それでん何も持ちょらんんじゃねー 親も辛かろうが子も祖父母も。

こげな想いをすりゃこす人ん痛みも 人間性ん心も育つんじやあるめーか。平気になるる…人間の強さも自然に備わっちもくる。

先生じゃつて人の子じあり人の親でんある。目がキラリ光ったがここじ 甘やかしてはと心う鬼にする。『外じ遊うじよりゃ 昼から2時間じゃきの』『うん 帰いたらそん分食ぶるき……』『そうじゃのー』 明るう答えたにーほっとしち 先生も教員室に行った。この日も花子だけじゃねーじ 何人かが 弁当時間に外に出た。

花子はいつもんごつ奉安殿の影に行くと オトシかる出えたトイモを 食べ始めた。冷とったイモは齒にしむごたる でん私ん弁当は一番おいしいもん。自分に言い聞かせるごつ言いながら 口に入れました。家じゃ今頃ゃトイモアンの火焼きかん知れん。火焼きにするきーち朝 オカチャンが言いよったき。

『学校かる帰ったら腹ひとつ食べられる』 幼い考え方であってん そん気持ちは解りすぐるくれーゆう解る。花子はおかしゅうなっち一人じクスツち笑った。外は風もねーぬくい天気じ 弁当代わりんトイモまじ温もっち来た。オトシン中んかすを捨てち運動場に出ると もう早いしは遊び回ちよつた。



仲良しん美代ちゃんがつうじ来た。『あんた弁当忘れたんな』『うん 慌てんぼうじゃきな』『ひもじゅねーな』『しよわねーき』 話んやりとりん中じ 友達ん友情は優しく暖かく心ん中まじ ほのぼのした花子じゃつたなー ゆうまでんねーこつじゃつた。春先ん校庭じ。

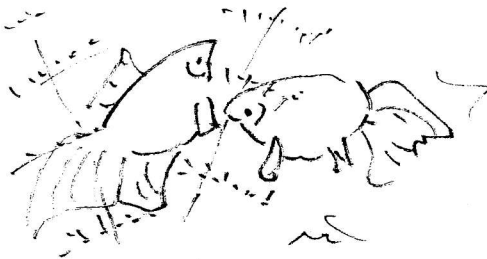
『ただいま…ばばさん何かねー』 あるもんは解っちよるに聞き
て一気持ちもゆう解る。我慢しちいた花子ん本当ん気持ちが ここ
まで来るともう止められないはず せききっち流るるんじゃろう。
バツと出た我慢の気持ちから甘ゆる気持ち 祖母がそれをしっかり
抱きとめてやる 家族が力合わせちよりゃこす 幸せん金でん物で
んねー宝物んごたる心でんある。

そげな中に花子も一人としち大切にされちよるし 大事なひつー
ちゃんと守り実行もしちよる。がんばった2時間ほすの我慢でん
子供にゃ重労働かん知れん じゃがそれが出来る心に育てた家族
家庭は場らしい人間集団でんある。

『ひもじかったじゃろう』 皺の多くうなったばばさんが 皿
に一杯盛り上げた火焼きを 『トイモアン火焼きで』 『……』
嬉しさがこみあげち もう言葉にならん。孫も祖母も。『ばばさ
ん抱っこしていい』『えー』 ニッコリ笑うとばばさんは 花子
を引き寄せて抱きしめました。

年寄りの匂いがプーンとする ばばさんの温もり。大きな口に
愛情いっぱいつまった火焼きが 休みなく入って行く度に ばば
さんと花子は顔見合わせちゃ ニッコリ笑う。そして何とおいし
いことか…『ばばさん おいしい…』『……』『ばばさん おい
しいちゃ』『ふんと……よかったな』 ほろり流れた涙に
祖母の幸せそうな横顔 花子はじっと抱かれたまま見上げて。

◇ 調査資料から構成して2年生に読み聞かせしたものです。



『猿の恩返し』

わやくするんが好きな猿が ばあんののでーじい育てちよる畑ん
コンニャク荒らしち困ちよつた。それでん優しいばあちゃんな
ちとぐれ一食われてんいいかち 『猿もヒモジイージャロウ』
ち言いながら 今日も畑ん仕事に行きました。天気がいいもんじゃ
き ばあちゃんかたんコンニャク そりゃとてん太ちよつた。

何日がしたある日の事じゃつた。いつもんごつ畑に行く途中じ
騒がしい音がするもんじゃき 側まじ行ちみるとなんとそきーに
や あん猿がワナにかかち逃げられんじ 一生懸命逃ぎゅどち騒
いじよつた。けんたまがちしまいました。ばあちゃんな畑う荒ら
す猿じゃけんど むげのうなちしまいました。

『あんたどうしたんかえ ふんと』 ばあちゃんな人間にでん話
すごつ言いながら 側によると猿も悪かち思ふたんか しおれ
ち泣き出しそうな格好になりました。そしち目には一杯涙をためち
じと ばあちゃんの顔を見上げました。『助けてほしい』 そげ
な気持ちが伝わち来ました。

猿でん怪我しち目に涙ためち反省しちよりゃ むげねーな人間と
いつちよん変わらんち思ふと 痛めちよる足かるワナを取ちやり
ました。足の挟まれた所にゃ傷があち血が 吹き出ていたけんど
自分じねぶったんか ちった血の出は少のうなっていました。ばあ
ちゃんの姿を見た事やらワナを外してくれた そげなこげなじ猿も
今まじ わやくした事ん申しわけないち思ふ そげな気持ちが伝わ
るようにも ばあちゃんにゃ感じとれました。

ワナから外してもらったのがどんくれー 嬉しかったんか足う引
きずりながら 山ん奥に入ち行きました。見送ったばあちゃんも
『しよわねーじゃろうか』ち いときゃー見送りちおりました。

いたずらされてん命は大事なもんです。じゃき ばあちゃんも猿をワナかる外しち助けたかったんじゃろう。

次日に ばあちゃんが畑に行くにあの助けた 猿が木の下じ足に草ん葉っぱを巻きつけち すわっちょつたんが目につきました。昨日んお礼を言いたかったんか待っちょつた。『ちったゆうなったんな』 優しう声をかくるとちんめ一声じ 一声なくと猿は足をひきずりながら 又山奥に帰っちいきました。やつばお礼が言いたいんと元気になったぬー 見せたかったんじゃろう。

『よかった…』ばあちゃんも安心しち 畑ん仕事う始めたが天気がいいだけじゃねー 気持ちも嬉しい日になったごたる。

それかるちゆうもんな猿んわやくも のーなったし時折顔で一えちゃ 一時遊んじょつちゃ山に帰るそげな日が 続いち仲良しになっちしまいました。きっとひょいとすりゃ心はいい猿じゃつたんか 助けちもろうた恩をちゃんと覚えち 返すなんか大したもんじゃち ばあちゃんも感心しちしまいました。

人間でん猿でん命ん大切なこたー みな同じじゃちゅう事あゆう解ったんじゃあるめーか。

夏ん仕事も終わっち涼しい秋口になった頃ん事じゃつた。こんだ ばあちゃんが無理しち足うくじいちしまい いったとき休むこちーしました。お天気なに勿体ねーち思いよると 縁先じ何か物音がするもんじゃき 出ちみたら庭ん植木ん端にあん 猿がちょこんと座っちよる。『あら あんたゆう捜しで一たな』 ばあちゃんの声が懐かしゅうじ 嬉しかったかん『キャツキャツ』 枝を揺らし真剣に足もとを見つめちよる。

『やっぱ 心配しち来てくれたんじゃろう』 ばあちゃんは嬉しゅうじ嬉しゅうじ 涙が流るるはず嬉しゅうなりました。

ばあちゃんが縁先まじ ずりでたら何やら置いてある。なんとそきにゃ猿が怪我した時足に巻いちよつた あん葉っぱが置いちあったもんじゃき 『これが ゆう効くき養生して』と 声には出さんでん言いたかったんじゃろう。ばあちゃんはほんならち そん葉っぱを足に巻きつけちみた。

猿に効いてん人間に効くじゃろうか 所が不思議に熱が取るるごたる気がする。いや実際に熱が引いち行くんがゆう解る。やっぱお礼にち今まじ猿が使いよった葉ん葉っぱ。それが見事にゆう効いち見る見るうちー 腫れが減り痛みが薄うなっち 日増しに治っち行くごたる気がしち来た。ばあちゃんな涙浮かべち『本当 まあ ええらしいのう』 心から感謝しち早う会いとうなっち待ちよつた。

それかる何日も猿もこんじゃつたが 元気をとりもどしたばあちゃんが 久しぶりに畑に行っち見たらどう。なんと猿が迎えに畑の入口まじ来て そりなんとほかん猿たち5匹も 一緒に迎えちくれたもんじゃき たまがっちしもうた。一声ないた猿たちは木の枝を上手に飛び渡っち畑につくとこんだ 畑ん畦に並んじお迎えしちくれた。

『こまえは おおきに おかげじこげ元気なつたで』 ばあちゃんの嬉しそうなそん声に 猿たちもよっぽず嬉しかったんか キャツキャツキャツと はしゃぎながら木の枝に移ると こんだ枝を揺らしち『ばあちゃん おめでとう よかったなあ』 ち言いよるごたる。言葉が通じんでん気持ちか 心が通じるなら人間の真心は猿にも 猿ん心も人間に通じる、ゆう解ったち しみじみ思いうばあちゃんじゃつた。

助けられる 助ける そげな事はこん世界に生きちよる限り皆がしながら 楽しゅう生きて行くんが幸せち言うもん。それにしてんあん猿がここまじち思いうたばあちゃんじゃが 猿もひよいとすりゃそげー思いよるかんしれんな。それが世間じゃろう。



辻のお地藏さん

辻にたっちよる お地藏さんは今日も子供たちん 遊ぶ姿おじっと見ちニコニコしちよる。黙っちゃおるけんど優しゅ見守っちくれ 赤え前垂れ 雨にも濡れ 風にな曝されちよりながら 時にゃ近所んしたちが掃除っしちくれ 花が供えられ季節ん珍しいもんも。そげな場所にゃ決まっち子供たちが集まり遊ぶ。

なんと言うてんお地藏さんな 子供んいい遊び相手でんある。子供が大好きじゃもんじゃき わやくする年頃ん子供たちが 遠慮会釈もの一周りゅうつーだり 頭え物うあげたりもする。顔に触ったりするんのもおりゃ いっ時もじっとしちよらんもんじやき せせろしかろうに変わらんじニコニコしちよる。

こん近くにゆう威張り散らす老人がおった。老人の言う事ぁ正しいかん知れん。人間のするべき事かん知れん。じゃが子供ん遊びちなりゃこりゃ又話しゃ別。子供ん世界にゃそげな理屈も越えた 心ん遊びもあっち流れちよるんのもある。お地藏さんが見つめちよる子供ん遊びゅ 時にゃ許しちくるる事もあるき。

そげな子供ん世界もゆう知っちおりゃこす 心配のう遊び走り跳ねたりもする。今日も老人が用事じ通りかかった。子供たちが地藏さんの周りっ暴れちつーじ行く時 しゃ赤い前垂れを引っかけちしもうた。そりゅ見ちよつたき一遍に小言を言う 子供たちゃ吃驚しち手が震え顔がまっ青なつた。今にも泣き出しそうな日頃ん悪がきも こげえなりゃもう形なし。根が正直じゃきこげか格好は よき一惨めに見ゆる。運が悪いなんかん言い訳にゃならん。

老人が叱りつけたな一勿論なこつ 子供は泣きながら叱らるるんを我慢しち 耐え忍んじよるごたる。『たしかに自分が悪かった』と謝りん言葉じ『おごめん』ち 泣きながら頭っさげちこらえち貰う。

老人は気が納まらんごたつたが ぶりぶりする格好じどこかに出かけた。後に残った子供たちは泣く子を かばうごつ皆んな集まった。えーと泣く子も落ちち一たんか 今日ん遊びも途中じ止めち帰るこちなつた。じつと見ていたお地蔵さんは 『可哀相じゃが ゆう我慢しち 素直に謝つた』ち 喜んじくれた。

そん夜ん事です。昼間子供たち遊び場で 怒つた老人がダマシ腹痛を起こした。薬うぬ一だが効き目がのーじ 次んあさ寺ん和尚さんにお祈りうしちもろうた。ところが何とです 『いつか子供が遊びよつたぬ怒つた事はないか』と 聞かされました。老人は昨日の事を想いで一ち正直に話したら 途端に腹痛が消えちしもつた。

お地蔵さんさえ子供ん遊びう許しちよるに それがなし悪いんかえち諭されち 年がいもの一怒つた自分を恥じちしもつた。怒つた自分の愚かさ 恥ずかしさ 身の縮む想いは子供の心より まつと低いのかち思うと あんまりも相手ん気持ちう粗末にした 今日ん自分が恨めしゅうもなつた。

老人じゃきこす子供ん事いもつと 心くばりせにゃならんに反対に子供う攻めた そげな老人こす謝るべきでんあつたごたる。まつと子供ん遊びにち一た言葉ん かけかたがあつたじゃろーに。子供に教えらるるような昨日かる今日ん 目の回るごたる出来事い穴がありゃ入りて一気持ちにさえなつちしもつた。

じき帰るとお地蔵さんに供え物を持ちち行くと 子供たちが遊びよつたが昨日ん事あ 全く知らんごたる顔と顔に 救わるる想いの老人じゃつたが 手を合すわす想いん気持ちじ 『昨日は悪かつた』 ち言うと 何事かち聞くような仕種にほつと胸なぜおろした。純真な子供たちん目はキラキラ輝いちょつた。鈴を鳴らしち遍路さんが来る。『前垂れ変えんと汚れちよるなあ』 誰かが言うと 『皆んなじ作らん』『賛成』 そん声が次々伝わる里ん暮。



祭りのみやげ

祭りん太鼓ん音が お宮ん森かる聞こえちくる。今頃ぁもう神樂が始まったんじゃろう。笛んなんとん言えん音色が 手に取るごつ風に乗っち流れち来るそん度 心まじさわぎたつのん百姓じゃきか。

茂は足が痛えもんじゃき 楽しみいしちよつた そん祭りにゃいけんごつなつた。ちった一気分もいき 起けて座ちよつたらそん様子が 耳に入っち友達が『一緒にゆこうや』ち 約束しちよつたが行けんち解ちよるきか 誘いにゃ来んじゃつた。そげなごつう思い出すごつ うつろに思い浮かべちよつた。

神樂ん休憩ん幕あいにならうだ 店屋を次々に見ち回っち好きなもぬー 握りしめた手の中かる汗にまみれたごたる お金で買うともう役目がすんだような 気になちちしまうから不思議でんある。じっと手をあけち見ち 『まあある しょうねー』ち 握り直す時どんくれーお金んありがてーかが ゆう解る。

神樂が始まるとそん前に集まる。太鼓や笛に合わせち舞う神樂お面の顔が怖いけんそれが又 見とうもあっち側に寄ちいとだまし近づいち来るき たまがちちしまう。お客が多くなち店ん前も 子供連れんよそんしがゆう買いよる。やっぱ孫にでん買うんか大けな財布かる 札がつまみ出されち気前ゆう払う。

『祭りにいきてこたーねー』『いいで』『連れちいこうか』 母親にしちみりゃ むげのーもあるんじゃろう。本当は行きたいけんど今年は辛抱しゅう。ち心に決めちよつた。『そうじゃの一足がゆうなりゃ 又いけるるきのや』『…………』 返事はなかったがそれは 淋しい気持ちを打ち消す格好かん知れん。茂ん気持ちゅ思うともう話かけんこちーした。足の痛みがまだあるごたる。ちっと横になちち見たが 悪いんかまたふとんに入っち 寝たごたる。

そげな時間が流れよった頃い 近くかる話し声が近うなった。茂はそんな声が 一郎ちすぐ解った。一番仲良しでんある一郎 やっぱ友達と来ちくれた。こみあげちきます友情ん涙が 茂はちょつぱり目が潤むと側のティッシュで気づかれんごつ拭いた。心の中で『有り難う一郎』と……。ポトリ涙がひとしづく枕を濡らした。

家の前まじ来た足音がびたり止まった。茂は心がはやり早鐘んごつ動機が高鳴った。早く会いたい気持ちと じっと感激する瞬間の気持ちと そげな事が交差しち 二つん愛情を美しゅう飾ちよるごたる。神楽も店も見ないままに見舞いに来ちくれた 優しい心くぱりん一郎ん真心に 茂はもう幸せ一杯ん思いがしちよつた。

『茂くん』 まぎれもない一郎の声。『はい』お母さんが出ると そこには友達と2人で立ちよる。友達によち成り立ちよる茂ん幸せ お母さんは途端に感激の涙がこぼるるような そりゅぐとこらえち 『まあ あがってください』 気分がよくなつたごつ奥かる 茂の声。『一郎 あがって ご免な わざわざ来ちくれち 有り難う』 奥からん声に 『元気だ』ち確認も出来た。

友達と通された部屋が 一遍に明るうなち 笑顔がこぼれまくつた。なんと まあ いいもんじゃのーち 母親は少女んごつ弾んじよつた。外からん僅かに聞こゆる神楽ばやしん音 そげな音がバックん話しゃ広がる。足う触る真似うすると 茂は『わりー』ち足う引きこみゅーちする仕種。

そげな動作が むげのーじ いじらしゅうじ 仲良しの気持ちん中にほのぼのと燃え上がる 炎じちとでん早う治しちやりてー。『早うゆうなれや 待ちよるんど 皆が』『ご免なあと1週間』『無理すんなよ……』『……』 たったそん一言が嬉しくてもうしかたねー。元気づけ 勇気付けん薬になつたんじゃねー。店屋で買ったペンシルを 茂に渡すと 『おみやげ』はい。



『りゃー ゆう知っちょつたのー』『そりゃそーじゃがえー』
『ほしいち想いよったんじゃ』 一郎もよかったち思うた。友情た
あこげなこんめー心くぼりてん出来るもん。2つん心がさらに結び
つきゃ 素晴らしい夢も広がるんじゃあるめーか。神楽も見たかっ
かったじゃろう。店屋だっちゃ見ち歩く事もあったじゃろーに。

真っ先に しかも茂ん好きなみやげまじ 心にきー親友ん絆は心
ん鏡かん知れん。『大事にするな』『いいで 大したもんじゃねー
に』 それは安物かも知れない 小さな物でしかないかも知れない
。じゃが 込められた真心は万金の宝にも 勝る価値観があるんじ
ゃなかるうか。

顔見合わせて思わず 笑顔がこぼれて部屋が又一段と明るうなっ
た。笛の音色も一段と冴え渡るごたる夜更け。

神楽も蛇きりになったんか 一段と賑やかうなっごたる。そげ
な神楽ん場面ぬ頭に描きながら ここでは友情と言う舞台が 美し
く繰り広げらるる 別ん世界ん人間神楽。皆じ支えあい 助けおう
ちこれから育つ 若え一郎たちん 幸せは更に素晴らしい花を 咲
かするんじゃあるめーか。金じゃ買えん友情は 誰でんどこでん
心がけじ 咲かするこたー出来る。



方言調査収拾から構成して 青少年の読み聞かせ資料に利用。

《東部小学校の低学年用に。構成…石原美希》

五音集韻



M

な ナーンモ……………なんにも、何事も知らない、責任はない。
ナイトゴタルキヤミ……………泣いたようでやめなさい。
ナウナケックシャウメ……………手でナウ仕事は上手。
ナエハンサクジノ……………苗が良いのは半分出来たようなもの。
ナオツタン…治りましたか、座って席に着いた、よくなった。
ナオシソコネーチ……………始末を忘れた、修理が出来てない。
ナオツタカ……………治りましたか、よくなった、席に着いた。
ナオス……………よくする、修理する、元の位置に戻す、しまう。
ナカゴミュシャント……………中に入れる事こそ大事。
ナカムネアギュ……………途中で小さな祝い、要領よい使い方。
ナカンサキンナミダ……………泣く前のから涙、演出が効く涙。
ナギーイトマタ……………暫く会えないようで、長い間の別れとは。
ナキベソデンシャントシチョル……………泣き癖も芯は貴重面。
ナクゴタラスボニスル……………泣く子は留守番に。
ナゲコタルメ……………余命が尽きるか、傾いた運勢。
ナゲタヌヒロエヤ……………火難祈願行事、ひとぎ餅は縁起物。
ナコモンナホタツチョケ……………泣くものは取り合うな。
ナゴナリヤキニキイ……………御無沙汰もほどほどに。
ナゴナルゴタリヤ……………長くなるようなら、先方の都合も考慮。
ナザシサレヒッコメレン……………指名されると断られないから。
ナシデンキマツチョル……………慣習で決まっている。
ナシチュテンワカツョロガ…理由に関係なく決まっている。
ナジルリヤヨロキ…病は気から、弱ってしまうと病人になる。
ナジコジュウ……………調子のよいおべんちゃら。
ナスビンキリカケ……………茄子の代表調理、一般的な食べ方。
ナズカキーシュウネガイル……………説得上手で性根が入る。
ナスビヤアダバナネー……………茄子には実らない花はない。
ナズカケチオイダス……………上手に言いくるめて追い出す。
ナゼゴヤクセモン……………上手な声使いは油断禁物。
ナダムリヤズニノル……………慰めるとちゅ調子に乗る。
ナターダルノヤ……………夏は暑さと疲れも倍加。

な ナヂレタトキャキオツキ……………弱った時は気をつけないと。
ナツンマッサカリ……………真夏の一番暑い時期。
ナツンツキモチャイヌモクワン…夏についた餅は傷みやすい。
ナデマワシャウレシイガ……………撫でられるのは嬉しいが。
ナトーケーチクンナ……………鉋貸してください、無いなら家のを。
ナニサマハジメチジ……………何分にも初めての事で。
ナニデンサセチョケ……………何でも出来るから。
ナニカルカタズクルカ……………何から始めますか整理は。
ナニガナンデン…とにかく何でも、どのような事であろうと。
ナニモネーガメシナト……………何もないがせめて食事でも。
ナノジャキコマル……………ですから困るのです。
ナビーチョリャアメード……………好きと思うと甘いですよ。
ナフドーツケニャトラルル……………名前札添付しないと間違う。
ナベャチーチマワル……………鍋は人間について回る物。
ナベマジネブンナ……………鍋までもねぶっては恥さらし。
ナボトリャタウエ……………なばとりが済めば田植えになる。
ナマカタデンドケタ……………大体完成したのでは、ほぼ完成した。
ナマミュハラヒトツ……………刺身を腹一杯食いたい。
ナミナコタースンナ……………当然な事で満足しない事。
ナミチオモーナ……………当たり前と思わぬこと。例外こそ特技に。
ナムンナショウワルド……………なめたらやられる用心必要。
ナメチョリャセンカ……………なめてかかるとどんでん返しに。
ナメクジャシウマケ……………なめくじには塩が良薬。
ナメランナカンガエモン……………仲間意識が薄いのは考え物。
ナヤニデンカクリ……………小屋の奥にでも隠れたら。
ナユージュツテンイイ……………弱弱しくてもよいから。
ナヨットシタナユースード……………弱々しいのは駄目です。
ナヨナヨシヨルト……………弱々しい風体は嫌われる。
ナヨリャコスマイル……………治るからこそ参りもする。
ナラングレーハゲラシ……………思い通りにならぬ悔しさ。
ナラベサゲーチ……………ぐずぐず文句が先走る、苦言が多い性格。

- な ナラベサゲテンシレチョル……………捨て台詞でも知れている。
 ナランデンショガネー……………ならなくても仕方ない。
 ナリュカマワン……………人は見かけより心、なりふり構わぬ性格。
 ナリネートユルータカ……………ならなくても知らぬ事。
 ナルタケイケ……………出来たら参加して、できるだけ行きなさい。
 ナルコタメッテネー…無理と思うが、多分だけ駄目でしょう。
 ナレルリヤナンポイイカ……………なれたらどんなに幸せか。
 ナロージマッコレ……………並んで待ってください。
 ナワオビデンイットキャモツ……………縄の帯でも時の間に合う。
 ナワンサキャトメニャ……………縄のない終わりは止めなさい。
 ナンションノ……………なにをしていますか、何事をしていますか。
 ナンナラアラウカ……………洗って置きますか、洗う事にしますか。
 ナンショツトユルタカ……………何をしても知らぬ顔で、我関せず。
 ナンチュウテンイイキ……………何といっても良い事です。
 に ニーランノカ……………眠らないのか。
 ニイッタラネシー……………ねむったら寝せなさい。
 ニイッタメニフシュー……………眠った間に繕いを。
 ニイッチョリヤネシー……………眠ったら寝せつけて。
 ニエタトンニエントン……………ぐつが切れない性格。
 ニオチョルオサガリ……………お下がりが似合う。
 ニオトリヤウモダセ……………荷取りに馬の準備。
 ニガテデンシヨリヤ……………苦手も頑張っていれば。
 ニキナラコズケ……………難しいようなら苛めたら。
 ニギッタナハナスナ……………宝は手中、握った物は離さない事。
 ニクラシュハビコル……………手がつけられないほど広がる。
 ニクデンヤキタツ……………気に食わなくても役に立つことも。
 ニグロノシー……………荷鞍を乗せて準備、早めの準備が得を取る。
 ニゴナリヤコマルド……………苦くなれば無駄になる。
 ニゴリヤオールド……………頭隠して尻が、濁るのはいる証拠。
 ニゴジュウジャ……………まったくお手上げ、同にもならぬ格好。
 ニゴッタナンカ……………濁ったが何かいるようだ。



に ニクシュワロー……………憎たらしい相手、性格の悪い人間。
ニサンニチャオランド……………暫く留守をするので。
ニジムゴタルノヤ……………霞みそうな様子、落ち着かぬ気分。
ニジュジョル……………滲んでいるようで。
ニジラトツチョコケ……………煮た汁は保存しておいて、保存飲料。
ニシメタゴタル…煮しめが出来た、ぼやけた色合いになって。
ニズムリャカルナル……………荷を詰めると見た目に品がよく。
ニタモンナフーフチ……………似たもの夫婦、似合いの取り合わせ。
ニチクウカソンママクウカ……………調理では味も変化がある。
ニツチンサツチン……………どうにもならない状態、決断も必要。
ニデタナアジモイ……………じっくり煮たのは味も最高。
ニデンアリャヨシイク……………荷物があればどこまでも。
ニドナリャサンベンナル……………手入れ次第で3回は収穫。
ニナイブーナライイデ……………担い棒なら格好よく。
ニナラシャカリーモン……………荷物に慣れるまでは軽い物で。
ニニナルキイラン…荷物なるから遠慮する。折角だが断わる。
ニニナリャアッチシイ……………荷物になるならあちらにでも。
ニノゼンナミヤゲ……………お客の珍味はみやげに。
ニビーガアリャハミー……………役立たずでも仲間に入れよ。
ニバンメニャウスナル……………二番煎じじゃ色気もないが。
ニブーゼンイイコツユウ……………役立たずでも時にはいい事言う。
ニヘンモシタガル……………またかと思返すが憎めない。
ニボウサシジカタクル……………担い棒は相性で担ぐ、意気が合う。
ニモタソコノケチョコシゴト……………仕事よりチョコが弾む。
ニモタツンジョケ……………荷物は積みこんでおくよう。
ニマタガスキジャノー……………股くらが好きですね。
ニヤットスリャキオツキ……………薄笑いには警戒信号。
ニユルカニエンカ……………中途半端な煮え方、満足の行かぬ料理。
ニヨロットデチキチ……………急にすりと出て来た。
ニラムトイロケガアル……………睨む横顔に憎めぬ色気。
ニランデンオセ……………睨まれても知らぬふりして動かせ。

に ニラミカエーテンモーケニャ……睨んで憎まれても儲けには。
 ニリヨルオヤンクセ……よく似て来た親の癖。
 ニルンジャノーテグセ……似ている親の手仕事の癖。
 ニレートンオヤコジャ……生き写しになった親の癖。
 ニロウデンシランフリ……睨まれても知らぬふりが得策。
 ニロウドチハオトグ…煮る準備に大わらわ。腕の見せどころ。
 ニワトニャカギカクンナ……夜遊び帰りも黙認して。
 ニワトリャハダシド……それでも風邪ひかぬ日ごろの訓練。
 ニンソウワルハウマレツキ……顔が悪いのは生まれつき。
 ニンソウワルウデンイイシド……人は顔では判断出来ない。

ぬ ヌータナデーヅツカエ……縫ってくれたのは大切に。
 ヌイダナビショヌレ……濡れた衣服は早く着替えて。
 ヌイダトキャトリアウナ……着替えは静かにして。
 ヌウチャラニャホコレヨル…着物のほこれ気になる。
 ヌガンナアトセク……脱がないと後の人が入れぬ。
 ヌキューシチョケ……暖かくしないと風邪ひく。
 ヌクメテンウメード…暖めても美味しく食べられる。
 ヌクモッタラアガレ……暖まったら出なさい。
 ヌグーチョキャワカラシ……黙っている事に意味の情事。
 ヌケタラツマミコメ……抜けたら素早く入れ直す。
 ヌゴードチアワツル……抜くのに慌てる見れて。
 ヌシニナツタカアンオトコ……父親になったらしい。
 ヌスンダナモドシチョケ……悔いは早めに改める。
 ヌタベーデタド……遊び場に出たいのしし。
 ヌツツクリャキク……塗りつけておけば効果がある。
 ヌネリットガビジー……生かす殺さずが耐えられない。
 ヌヒトハヒトカリー……盗人はひとかるいの被害。
 ヌベスベチョルガ……潤いが満点に、滑り過ぎるから困る。
 ヌベタリノベーターリ……伸ばしたり長くしたりの技法。
 ヌルマユニヘータ……程よい安定に甘える幸せ者。
 ヌルウジカジュモークル……湯加減が悪いと風邪を儲ける。



- ぬ ヌルーコネテンカマワン……………薄め湯で粉をこねる。
 ヌレタナホシャカワク……………濡れたものは干せば乾くが。
 ヌルカリヤモヤソカ…湯加減がぬるいなら燃やしましょうか。
 ヌレタナカワカセ……………濡れたものは乾かせば。
 ヌリーナタコーカ……………湯の温度が低いなに追い炊きを。
 ヌリーナダレデンスル……………時間がかかるのは誰でもする。
 ヌリマエーチョキャ……………適当に塗りあげておけばよい。
 ヌレットヒヤイモ…こっそりと利息を、気が重たい納めの日。
 ヌワンデンキラルル……………縫わなくても着られるから。
- ね ネイジガデーゾド……………根石が大事な境界。
 ネガキミチマワレ……………寝る前の火まわり。
 ネキンシガヤクダツ…近所の人のお世話になる。
 ネキマジイチミヨ……………側まで行って見る。
 ネキデンタニン……………側でも他人には変わらぬ。
 ネクーデンクエヤ……………寝込んでも食べないと。
 ネコソギモッチキタ……………全部取られてしまう。
 ネコンデンソゲーマゲン……………寝込んでもそんなに変えない。
 ネコヤナギンシリアテ……………猫柳は炭俵の口蓋に使える。
 ネコソギトラレチ……………まるごと取られる、元も子もなくなる。
 ネゴタゴツモーケタ……………思い通り利益が、願いが叶った。
 ネザヤシャスンナ……………少しは元も子ものこしておく。
 ネジマワシジシミー……………ドライバーで締めて、器具で固定。
 ネジマワシャフントベンリ……………小さくても器具は重宝。
 ネスリヤメオサマス……………寝せつけると目を覚ます。
 ネゾーワリマタヒロゲ……………品は悪いが色気はある。
 ネタコハオコサンゴツ……………寝た子が起きぬよう知恵を働かせ。
 ネチーノンイイケンド……………熱心な粘りもいいが、心の空間も。
 ネットアゲチコマンナ…貫き通すのも解るが、ほどほどが無難。
 ネットアグリヤ……………盲目は考え物、熟慮しながらが無難。
 ネダカダレカオールド…寝床に人の気配、気をつけないと藪蛇。
 ネットラレンゴツ……………人に奪われない要注意。



- ね ネナーチコユカクル…寝なさいと声をかける。寝るを勧める。
 ネナリクルモンジャ……………寝たばかりに来る迷惑。
 ネニキタチイワレン……………寝るために来たとは虫がよい。
 ネニカイルヨウナモン……………寝るだけに帰る不幸者。
 ネノバンモイイモン……………寝る番をするのもよいもの。
 ネバナバニヌラス……………ねばっこく濡らしてしまう。
 ネベークシナケベソ……………粘い根性なのにすぐ泣く。
 ネビーゴタラネチョケ……………寝むたいなら寝なさい。
 ネベーデंकエヤ……………粘くて嫌いでも食べたら。
 ネマキャウラガヤシ……………寝巻きが裏返しの慌て者。
 ネミーナコラエラレン……………眠たいのは我慢ができない。
 ネミーナミナイッショ……………眠たいのは皆同じよう。
 ネヤカラサカシイ……………寝癖が悪くて困るが元気な証拠。
 ネユーウレタナ……………高値で売れて、思わぬ収入で感謝。
 ネユージュヨロコベ……………高値で喜んで、日頃の精進の賜物。
 ネラワレチヒアイモ……………狙われた利息の苦しみ。
 ネランジャツタ……………寝られなかった、落ち着いて寝られず。
 ネラレニャオケチョケ……………寝られないなら起きていたら。
 ネロータナノガサン……………狙った獲物は逃さない。
 ネロードチヘコハズス……………寝るつもりかヘコまで外す。
 ネルマガアリャセン……………寝る暇もないままで、不眠不休とは。
 ネルコハユウソダツ……………寝る子の育ちは抜群、手を取らない。
 ネレントキャシマツシヨ……………寝れない時の始末は任せて。
 ネンジュデンヤソコナウ……………慣れは失敗にもつながる。
 ネンシャジカテエガ……………入念で堅物だが失点もある。
 ネワキャオコスナ……………寝たすぐは起こすな機嫌が悪くなる。
 ネワイイシジャガ……………気持ちはよいのだが苦労もある。
- の ノーナッタモン……………無くなってしまっ。
- ノージナナクセ……………人には癖7つ。
 ノーデンナナツアル……………知らぬ癖が7つも。
 ノイチョカニャハジカイ……………ごみ塵が皮膚を刺激。



の ノータンナヌリュカキー……頭はぬるくても聞き分けはいい。
ノカンゴタラトリアウナ………のかないなら相手にしない。
ノカセニャジャメナル………取り除かないと邪魔に。
ノキューテンシコデケン……急に言われても準備が出来ない。
ノキイヤタマガル………急に言われると吃驚する。
ノキーデンイイド……即応出来る、急に言われても良いです。
ノキジャコマンノー………急じゃ迷惑だが。
ノクナラヒドクルン………除けるなら後ろに下がるが。
ノクンナラコラユル…除けるなら我慢する、除けるなら許す。
ノケンゴタラトウサン………除けないなら通さない。
ノケメーゴタルド……除けないようだから、のけねば考えも。
ノコリヤヤンニヤル………残りはあなたにあげるから。
ノサンデンハナシュキケ…腰をあげなくても話は聞きなさい。
ノシツケチャヤランキ………熨斗まで着けてはあげないから。
ノシタトキノミヤイイ………休憩の時に楽しみに。
ノズコシャウメイド………喉越しは格別な味も。
ノゼンチンモイイド……野原で排便の気持ち、行儀は悪いが。
ノタレシンデンユルタカ………不良死でも仕方ないか。
ノチニャオモイアタルこか………後悔する頃は老人になる。
ノツタトキミラニャ………馬の交尾は見事なもの。
ノデンコビリャウメー………野原のおやつは美味しさ満点。
ノナラケーチワヤジャ…失って困窮する、紛失して困惑した。
ノニマジチーチクル……田んぼまでついてくる、家庭円満形。
ノノコユーキチョレ………綿入れ着物で防寒した季節。
ノバナシジャアブネ………放任主義では危険が多いから。
ノブナーキレマエ………伸びすぎると切れる可能性。
ノボスリャメクラトツイ………熱の上げすぎは盲目になる。
ノボスルゴツセセロシイ………上気しすぎると示しがつかぬ。
ノベゴミャチュウニウイ………中の日に植えると葬儀米になる。
ノベノベシチャレ………独特な伸ばし技法、伸ばしてあげたら。
ノベボウトツチャレ………伸ばし棒をこちらにください。

- の ノマンニヨウカヤ……………飲まないのに酔うのも不思議。
 ノマンサキンゼニカンジョ……………飲まぬ先に計算するケチナ人。
 ノミタカリヤスンジシヨ……………飲みたいのなら終わってから。
 ノミタカリヤテダシガイ……………飲みたいなら割り勘はどう。
 ノムナカマワンガ……………飲むのは構わないが後始末に苦労。
 ノメレンゴツナッタ……………飲めないようになった健康。
 ノメレンカチオムータ……………飲めないかと思ったが昔の杵塚。
 ノモウドチヨッチクル……………飲みたい見え見えの立ち寄り。
 ノモウンナラトキニヤカエ……………飲むなら時には買い番も。
 ノリユーウシチョケ…乗りのよい愉快的仲間、気の持ち用。
 ノロケモホジホジシヨ……………自慢話は褒めたものでもない。
 ノンボリクンダリミーチ……………人の影がよく見える。

方言単語ん追加編…No.6 ここまじ『あ』かる『の』まじ方言
 単語が 1683語入ったで。こん中にゃひょいとすりゃ 方
 言う じゃねーのもあるじゃろう。けんど調査最中じ資料なん
 かん 協力しちくれたしん 気持ちゅ思うと『とぎにいれんと
 むげねー』ち 思う事もあっち 入れちゃりますし おごめん
 な。

ここん上にゃ酒んこつーならべさげーたが 薬にでん毒にで
 んなる水じゃき ほどほどがいいかん知れん。ゆう酒ん匂いが
 すると すーと来るしがある。が これも絆か縁か。じゃがな
 時にゃ差し出す気持ちも大事。と 過ぎたるは及ばざるち言う
 き ほどほども健康ん為にも 好誼ん為にも 財源の為にも。

ちょいと一服しち 待ち構えちよる七瀬渡しん五助さんに
 しゃべくっちもらおうかな。人は知っちょつち
 悪いこたー一つもねー。ただそりゅうするか
 せんかだけんもんだい。『するえ』『してー』
 ほらすぐ乗りでーち来た。好きじゃのうまー。



五助馬子
衛道子方



『いっぺん見せな一』

『こん前言よったぬ いっぺん見せんな』『いいで明日は雨降り
ちゅうき来りゃいい』『よかろうか みんなおらんのじゃね一』。
話かるすりゃ どうやら珍しいもんぬ見てーらしい。みんなおらん
日それも雨ん日ち聞くと 胸騒ぎもするごつ 穏やかじゃね一話。
まあとにかく聞きな一ちや……。

ちった一年月もたつちよるが そっと開いち見る。けば立つた肌
触りに思わず息う飲みくうだ。見たかった夢が今叶うち思うと も
うそん喜びが全身にみなぎるごたる。折り目ん奥かる黒いもんが見
えた。瞬間どきっ………目を見張るとどうやら仏像んごたる。見つ
めよったらそん 手を払いのくるごつ押しやっち 『これな…観音
様とも言うんで 何観音様じゃろうか。

潤いのある姿かる仄かん匂い そげなこつ一連想すりゃいちべ
思いやら見かたやらが 広がり変わっち行く。『しめっちょらん』
『そうかん知れんな 何様めって日に当てんき』 二人んやりとり
する話にゃ もう色気が充満するごつ 広げた真ん中に注目しよっ
た。

中が盛り上がちよるんも日陰にあるきか 湿気のせいじゃろう
か それにしてん人間の心うこげー引き付けちまあ。じっとうらが
えしすりゃ 『悪いに』た言わんき じわっと回しち手を添ゆると
温もりが伝わるごたる。長年人間の歴史と情愛がこもっちおる
からかん知れん。

上についちょつたけばをはがすと もう正目が目の前に出ち来た
んじゃき 慌てち元に戻したが無理じゃつた。はげたな一元に戻ら
んな『おまかせ』ん形相。広げたもんじゃき白かるピンクに変色し
よる。『やっぱ有難えな一 こん観音菩薩様は』『そうな』

二人じみつむる観音様 人ん苦勞難儀う救っちくるるち言う。けんど信心しちお願いする ただ頼みばなしじ努力もせんのじゃ こりゃまた困ったコンニャクじゃきなえ。『ふんとそう言やそうじゃなえ』ち 二人ん話は雨が降る事もあっち 賑やこーなった。いいくれーん頃 『もう閉めちよかにゃ傷むかんしれん』『しよわねーで そげー傷みゃせんわな』『よかろうか……もちっと見ちよりてえ』『いいでこげなこたー滅多えねーき』

口みずまじゃいかんでん願いが叶うた 嬉しさも肝心の見たかったもぬー見れた……そげな夢がよかったんかん知れん。あん黒い所ん観音様 他んしゃあんまり見ちよらんかん知れん。ち すりゃ尚更一人占めしたごたるき 余は満足じゃど ち言いてえもんじゃと来たもんじゃ。

白い所が桜色いなたごたるが しよわねーじゃろうな。ち心配するほず喜かうだんか嬉しかったんか。あん柔肌ん中かるぼーと見えた 黒い観音菩薩ん幻んような物。いっぺん見てーた思うちよつたが こげー神秘的なものたー改めち見直した。雨がふるなりん日見せてもらった 感激ゅ覚ゆるごつー閉めた古本。

年季も入っちよるだけに貴重品でんある。紙んけばも財産の内じゃき そぜんごつ念入り元に戻しち畳んだ。『どげー満足したな』『おおきに大事な本ぬ見せちもろうち 本当にすまんじゃつたなえ』『いいこと もう破るるかん知れんきな 早う見ちよつちよかった』『そりしてん 紙んショウメがいいき まあいっときゃしよわねーで』『守りが心配じなえ 売ろうかち言いよるんで』

古本な保存も管理も大事じゃが 誰か守りせにゃのうなんのん惜しいこと。観音様らしい影がほんのりあった絵に 満足したのん当りまえじゃろう。それだけ好奇心も夢も大けな人間の欲望でんあったんか それもまあいんじゃねー。



『一幕芝居…あげな話』

えーと待つちよつた日暮れになっち 落ち着かん気持ちゅ湯にへえっち 三年越しんコキューそり落としち 頭んさらけんまじ撫でまえーたち思うと ここじせにゃいいに手鼻うくーだ。じゃけんどそげな格好もゆう似合うき 育ちゃ知れちよるち思うと そうでんねーごたる。そげなこたーどげでんよかった。

ごそごそ『ダンゴじる』かきこむと もう暗うなっちよる。相手にゃ言わんじゃつたけんど そかゝ年頃じちよいとん音でん 目をさますじゃろう。問題は親父に気がつかるともう 大事うつくりたてち困るき 物音うせんごつち用心なしよった。耳うすますと中かか話し声が聞こゆる。

節穴かる覗いたぶんにゃ親父は寝たごたる。じっと雨戸う触っち見たが戸締まりゃまあしちよらん。それとんせんじゃつたんか 娘に通うぬ親が気くばりしちよつたんか。じーとせったらゴト、ゴト動きでーた。息う殺しち ひと息押したらガタ 揺れち動いた。心が弾うじ胸が早鐘ううちよる。

じーと縁先にあがったまじゃよかった………気がちーたんか親父が咳ばらいする。『しもーた気がちーたか』 生唾ひん飲むと咳が止まったき 『こんだしょわなかるう』ち 次ん足うあげた途端に娘が寝返りう打った。『ふんともう 早う来りゃいいに』 そげな思いじ待つちよるじゃろうか。なんかいつまでんモソモソしち何しよんのふんとち いわるるごたる気もする。

えーとずりくうだなよかったが 『今日はちょうず悪かったに』 ああ無情たこんこつか。打合せせんじゃつたばかりじ 肝心な 役立たずじまいたー聞こえません善兵衛さん。まあ楽しみゃこん次まじ お預けじゃが仕方あるめえ。



『一幕芝居…こげな話』

何か集まりがあったんか それとん祝い事か 仏事か とにかく
人ん出入りが多いごたる。そげなグロジこげな事もみつけた。

どうやらお経があがったんか 坊主が入ったり出たりしよる。そ
りーいつん間にか 飯うシコーしよんのか 米うとぎよるんか 白
水が流れでよる。いっときしたら お布施ん包みが配られたんか
そん包み紙を 散らかしよる。たったそれだけん事じゃが ゆう見
ると いろいろ考えられもする。

出入りしよんな ちった頬ばるごたる ツワモンかん知れん。そ
んはずじ うめく声が聞こえたりしち そりゃ喜びん声か 悲しい
むげねー声か。考えちみりゃそれも ゆう解る。泣きてーんじゃあ
るめーか 泣きはろうた目が 赤う腫れち もうこげな悲しいこた
ぁ嫌ち言うたか それとん いいぐれーか こげな味ゃ始めち ち
忘れられんごつなつたか。

流れ出るなぁ研ぎ汁か それとん情愛が からまったんが原因の
証か。音がすなー出入りするたんび おとなしゅ出入りしよって
ん 時が過げち やんがち自分がん 意志だけじゃ 押さえられん
こちーなった時 どげーなんのか 自分でん解らんごつなちしま
う。ちったー落ち着きな一えち 水指すとせちぼじかいさるる。

すんだんと 青白い顔 無理もねー気持ちゆう解る。笑顔う隠し
た顔にゃもう 満足いくそげな顔。じゃき人間じおらるるんじゃろ
う。紙ん始末ぐれーしちよきな一え。蠅がむしっちしとめんきな。
乾ききらんぬ 散らかしちよくと 若えしが虫う釣り起こすこと。
よかったんなら 口をぬぐうち 手を合わせちよきな一え それが
人間ち言うもんじゃき。いい事んあった後ぁ油断な
せんごつしな一え。つままるると取り返しつかん。



『一幕芝居…いっぺんしちくれん』

もうで一ぶん前か言われちよつたんじゃが なかなか暇がのうじ明日えーと空いたき行くこちーした。若いもんじゃき他んしに言うちやどげーち断わったんじゃが『誰でもかれでん言う訳にゃいかんし そりどうでん しちもらうんなら やっぱ若えしがいい事ち』 まっさら悪いことでんねーし 若けーき好きでんあった。

両方ん手を上手に使うなんかまゝ 惚ればれするごたる手さばきじ やっぱ頼んじ良かったち思う。言やすぐ来ちくるるしも多いじやろう 未亡人後家になると昔か 『女ご後家にゃ花が咲く』ち言う反面 男後家にゃ蛆が湧くとん言う。蛆ゃともかくもまあ人ん心理たー 女ごが若うじ美しいな一みな喜ぶきじやろう。

そげな若え後家んしかる『いっぺんしちくれん』ち 声がかかりゃそりゃもう 好きなしゝ有頂天になちでん 加勢に来るじやろうけんどこんだそれじゃ又『たで食う虫も好き好き』ち 言うくれー好みがあち 世の中うまく行かんもんじゃ。そぎ持ちちまち降ち湧いたごつ こん若いしに矢がささった訳じった。

『へこ しこうしたけんど済んじかる着替ゆる』『うん悪いなあほんな済んじかる換ゆるわ 汚ごるりゃ勿体ねー』『ちゃーなんぼでん換えは作ちやるき』 やっぱ若い後家ちや考えも瑞々しい。上に着ちよつた半纏ぬ脱ぐと『そちちおいちよいて』 渡した半纏にゃ若い男ん生々しい匂いが 一瞬鼻をちーち来る。

『へこ ここにおいちよくき』『おおきに ほんなはじむるかないいな』『いいで』 うら恥ずかしそうな声に変わった 若い後家の目の前で両手をぐあゆう使ち。縁う足じ踏んばると手と足とん呼吸合わせち 入ちち行くぬー頼もしいごたる目じ。えーと井戸ん掃除じゅしちもらう日 ほっと気になった仕事が一段落ん安堵感。

『そしち江戸時代ん あげな話こげな話題』

いっぺん見せな一…人間の好奇心があるしゃ 元気印じさかしい
ち言われよったごつ 死ぬまじ物事い吃驚するごたる そげな感覚
が何よりじゃろう。見せな一ち聞くとすぐ想像するんが 色気話と
食い気…こりゅう忘れんしゃ サカシイこつ請合い。見せな一でん
ぴんと感ずるんな どっちかによってん個性もちごうちくる。

夜這い通い…昔ん若いしにゃ特権ぬごたる 楽しいお遊びでんあ
っち そげな相手がおらんような者ゝ 話んならんこつでんあった
。それでんちゃんと倫理はわきまえ 条理ん違反な厳罰じゃつたか
る 罷り間違えち太った時ゝまう 嫁ごにするか養子に行くかん
そか一そかなりん方法が気を効かせ 気くばりする周りんしもおっ
たき 丸う納まる幸せ者もおったんじゃねえ。

いっぺんしちくれん…昔ん井戸さらえ いのちき欠かせん水はど
こでん大事にしよった。そん掃除も早めにしちこす水に感謝する心
ん表現でんある。所じ掃除は男んそれも慣れたしが 足じ両側うふ
んばり両手でつかまえち おれち行くが水ん出のいい井戸は 水換
えと掃除とまあ一同時進行。え一とすんだら新しい『へこ』と御神
酒を貰う。羨ましい仕事でんある。中には時の金物が落て込んじょ
つたりすりゃ 引き上げちくるるき喜ばれた。女後家さんにしちみ
りゃこげな時 若いしに頼むな一言い訳にもなっち ひよいとすり
ゃ甘ゆる事も夢じゃなかった。

江戸期に入っち田畑ん税が決められたが そりゅう上手に利用し
ち余分に儲けてん 税は増えんじゃつたき裕福になった。骨折りん
賜物じ手をちっと加えち高値じ売るりゃ 自然の太陽と水と天候じ
儲かる物は そんなに貰ゆる税制度が貧乏から 抜け出す方策にも
なっちよつた。こげな事が原因じ江戸時代が長う続いたんじゃろ
う。貧乏人が自然の中かる元気を貰うち 時ゃゆっくり流るる。

それだけじゃねー 人ん付き合いもゆうしたもんじ 支えおうち
助け合う人情が育ちよつたち言う。不便ないのちきじゃきそれが
やっぱ 人間の心う優しゅう思いやりん 気持ちにしたんじゃある
めーか。便利でねーのんかえって人間にゃ いい いのちちき上手
にしちしもうた。

じゃき平和なんか言うなー無え所かる作り出す 人間の素直な心
ん結集ち思わるる。見せかけじねー平和こす本当ん平和。じゃきそ
こにゃ貧富があってん感じられんこともある。

子供ん遊びにしてん自分が遊ぶ中かる 頭が働いち物を作り出す
まじ発展。そこに親が予測もつかんじゃつた 遊び道具かるいのち
き使ゆるもんまじ作り出す。それは不便かるにじみ出た知恵でんあ
る。頭は使いようじ元気になり鋭敏にもなる。昔かる〇〇とはさみ
は使いようち言うが 頭は使うこちよっちますます冴えてんくる。

百姓が畑じでけた物う使うち手を加え 余分な収入になりゃ百姓
ん儲けが 店ん売れ行きにも跳ね返る。周りゅ回っちこんだ帰った
頃にゃ ヒヤイもちーち太っち町ん発展、道ゃゆうなる便利にも。
皆が潤うゃ楽しい世の中にもなる。そうする事じお上ん仕事にも
協力しち税金がちっとぐれー高うなってん くじ言わんじ納むる。

300年続いた江戸時代は問題もあった が改革時代の一つには
こげな人間の心うまいこつ生かした いや上手につきおうた百姓
農家やら 国民が頭を使うち流れに逆らわんじ つきおうた時代で
んあったんじゃろう。じゃが底流に人としてん優しい心くぼり こ
れが生かされたなあ間違いねーごたる。心が貧しゅうなったんじゃ
もう 話ならんごたるな皆同じじゃろうな。



五助ものがたり…こぼればなし

人間の天才たー99パーセントん努力と 1パーセントん閃きにあるち言う。また99ん苦勞があっちこす 1つん喜びう味わうのん人生。『わしゃー運がわりー』ち 愚痴んじょう言わんじ それが99ん方で残りん1に 早う巡り会う努力こす大切な事。巡りあわせん人生たー いい人に巡り合わするんも 一生んうち相当得もする…こりゃ得ち言うより そげん人ん楽しい刺激によっち 頑張ったけん実った証でんある。

『もうはえたか』『ちっとなー』『見せちみよ』 むずかる子供 っ無理に引き寄せち口 っ覗き込む。『ふんとのーええらしい』

『けがねーちいうたのー』『うん』『ちょいとみせちみよ』 恥ずかしいらしいが じーとはぐっち見せた。黒いアザが残っち腫れちよる場所。『ここか ふがよかったの あぶね大事な所りのや』『ちゃすぐそげんこつ言う』 怪我がのーじよかった本当。

『もうむいちみたか』『むいたで』『よかったどが どげーか』にやにや笑うち返事ゅせん。『なんぼむいてん むいてん 中か出るちきち とうとうのうなっちしもった』『そじゃき ラッキョウ…楽経ち言うんじゃ 楽しち読んでん覚えんし残りゃ何もねー』『ふん』そげなことじゃつたんな。『そげー思うちょけ腹も立たん』

廊下んぞーきんがきゅしよった。足、腰、腕なんか全身ぬ使う体力づくりにゃ もって来いん方法。健康でおりゃ人生は 120才まじ生きる力がある。そりゅどげー使うかは個人の自由じゃが 折角ん室を途中じ捨つるな勿体ねー話。じゃち他んしに売る事も やる事も出来んきのや。大事に使う責任も生まるる。今時ゃ便利がゆうなっちそげな ぞうきんがけなんかせんじいい。が楽する分は健康が縮まच्चよるんも 考えにゃなるめーち思うがどうじゃろう。

日本人の平均寿命は世界一。じゃけん健康寿命は別ん話じ段差もある。そん空間が言うなら『介護期間』でんある。そりゅどげえしち縮むるかが本人の努力次第じある。人間は生まれた時に宇宙かるこん体をそれぞれが預かった。じゃき一生大事にする義務と無事護り続ける責任もある。

途中じ傷ついたりまかり間違うち 命う縮むるなんかは倫理違反じあり 責任放棄以上ん条理違反になっちしまう。ほんな病気にならんにゃどげすりゃいいか…栄養、運動、休養んバランスがでーじになる。いきがい、意欲、自己実現んんかが 健康管理に支援しちくるるから 家族、地域、社会んために役立つこたー 健康づくりん鍵かん知れん。人間な一人じゃ生きていけんから。

昔しゃ生活ん中えリズムがあり 必ず運動があっち動いちょつた。有酸素運動ち言うの一身につくる。歩く時ゃ早足じ歩くんが効果もある。人間の『毛細血管』…全部含めて96000キロ『細胞』は60兆個『腎臓』…1日1400リットルの血液を入れ替える仕事をしてくれる。そん中かる10パーセントは尿になっち出る。

ところじ『耳鳴り』…脳血栓の前ぶれち言う。

『突然…』…脳塞栓は起こる。

『ぼけ…』…脳軟化症現症が原因に。

どげーな『さかしゅしちよらにゃ損で』『じゃなーこれかるわ気をつけにゃなえ 焼酎もひかゆるかの』

浦島太郎が子供んいじめちよる 亀を助けたなー幾つん頃じゃつたか……それが24才…25才頃じゃつたそーな。へーえお前はそん頃見ちょつたんな。聞いたんじゃがそんくれーん年でん見たら『むげねー…いじめはよくない…命ん大切さ…皆が楽しい世の中』そげな思いがあつからじゃろう。

健康が人間にゃいかにでーじか。昔ん兵隊検査でん当時ん若えしん 『花柳病』をとてん恐れちよつた。ハナヤナギビョウじゃねえで 若んが遊び行く所じ公認されちよつたが 働く女も苛酷な労働を強いられち苦勞 それだけじゃねー病氣にもかかる。養生もなかなか出来んじ肺結核やら 梅毒にかかったしもあった。

そげな事もあっち検査ん時にゃ下半分除けち まる丸出しん状態じ検査官が 息子うぐっとしごく。病氣かかちよりゃ尿道かる膿が出る。こん奴はそのまま運動場をかけ足…ちなる。合格なら後ろ向きん腹ばいじ尻ん検査 検査官が両手じ開いち痔がなかりゃ合格。ここじ検査に合格せにゃ治療しち 再度ん検査になち遅るる。

元気な体格なら甲種合格じ即入隊 兵隊さんの卵になちこれかる2年間 みっちり軍事訓練されち国ん為に奉公する。合格せんじやつたしは 乙種 丙種なんかに分別されち 戦争ん時にゃ順番に出ち行くこち一なる。甲種は訓練のあとすぐに役立つ。乙種は不足ん時に訓練を受けち役立つ。丙種になりゃ招集されち訓練ぬする。

それでん無理な体格んしは 軍需工場に出たり他の仕事に参加しち 戦争にでんなりゃもう一億国民総動員になち それぞれん場じ国ん為にご奉公するこちなる。女ごしも国防婦人会を作ち銃後ん護り。年寄り子供もそれなりん受け持ちち護る。働くしが少のうなち食料が不足するごつなりゃ 学生が勤勞奉仕じ加勢に来る。

じゃが戦争た一人ん殺しあいである。平和が保たるるこた一何ちゅうてん幸せ。それにゃ皆がもっと平和に対する 考え方うもたんと我利我欲じゃ平和は望めん。命の大事な事も平和ん尊さもちゃんど 頭にたたき込んでこれからん 世の中もっと大切にしたいもんじゃが。たったいっぺんしかねー命じゃき。そげな話いなちが健康に気をつけち 楽しい人生を送る時生きちよつちよかつち思うが どうじゃろうなえ。



あとがき

方言集続編No.6が完成致しましたので お届け申します。ご支援
ご協力による『皆様の冊子』のような 歴史に残る小さな冊子です
が 今だから残せたそんな思いが染みこんでいます。

今回は方言が2つ以上連なったものを 主軸にした『あ……の』
までの方言が 脇役として『馬子五助さんの語り』も 交えた冊子
になりました。調査員がそれぞれ仕事を持っており その余暇利用
の編集プリント印刷製本です。素人の生意気な冊子ですが 人の心
の豊かさが滲み出るような 情愛も閉じ込めていますので 素朴さ
になっている思いも ご理解いただければ幸せです。

来年度になる次回の『続編No.7』には 方言単語『は……ん』
迄を入れます。馬子の五助さんは脇役として語りべに 昔の農作業
も散りばめて懐かしい場面の展開。そんな夢を抱きながら沢山の
資料から選別しながら生かして行きたいと思えます。ご愛読に感謝
しつつ時には甘えて 次回も挑戦した足跡を残したいと 念じてい
ますので 引き続きご愛読とご支援お願い申し上げます。

ご愛読くださる皆様方のご健勝ご多幸をご祈念申しています。

◇◇◇◇◇◇ 野津原方言集…単語編《続編No.6》 ◇◇◇◇◇◇

野津原方言調査会……野津原町今市小原

☎ 097-589-2807

野津原方言調査会事務局…野津原町本町

☎ 097-588-0092

